

岡山理科大学学則

第1章 総 則

(目的)

第1条 岡山理科大学(以下「本大学」という。)は、教育基本法(平成18年法律第120号)及び学校教育法(昭和22年法律第26号)の本旨にのっとり、理工学に関する学術の理論及び応用を深く研究教授し、人格を陶冶することを目的とする。

(自己点検・評価)

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するために、教育研究活動などの状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 自己点検及び評価に関し必要な事項は、別に定める。

(学部、学科及び学生定員)

第2条 本大学に次の学部及び学科を置き、学生定員を次のとおりとする。

	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
理学部			
応用数学科	110名		440名
化学科	75名		300名
応用物理学科			
物理科学専攻	45名		180名
臨床工学専攻	30名		120名
基礎理学科	90名		360名
生物化学科	95名		380名
臨床生命科学科	95名		380名
動物学科	45名		180名
工学部			
バイオ・応用化学科	85名		340名
機械システム工学科	90名		360名
電気電子システム学科	70名		280名
情報工学科	95名		380名
知能機械工学科	55名		220名
生命医療工学科	60名		240名
建築学科	75名	5名	310名
総合情報学部			
情報科学科	100名		400名
生物地球学部			
生物地球学科	140名		560名
教育学部			
初等教育学科	70名		280名
中等教育学科	60名		240名
経営学部			
経営学科	130名		520名

(工学プロジェクトコース)

第2条の2 工学部に、学科横断型の教育を行うための課程として、工学プロジェクトコースを置く。

2 工学プロジェクトコースに関する規程は別に定める。

(学部及び学科の教育研究上の目的)

第2条の3 学部及び学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を次のとおりとする。

2 理学部は、人間・社会・地球環境を念頭に置いた幅広い一般教養・社会常識を背景にして、真理に対する深い感動と畏敬をもって自然科学の基礎知識を習得し、社会で実践する能力を有する人材の養成を目的とする。

(1) 応用数学科は、数学の理論と応用の両面を基礎から体系的に教育することにより、問題解決のための数理的な思考力・応用力・情報技術を身につけ、教育や情報社会に広く貢献できる人材の養成を目的とする。

(2) 化学科は、学生と社会のニーズに対応した多様なカリキュラムにより、化学を中心とした高度な知識と技術を習得させ、化学に関連した分野で活躍する技術者や研究者及び理科教育にたずさわる人材の養成を目的とする。

(3) 応用物理学物理科学専攻は、科学技術の基礎となる物理学・応用物理学の基幹分野を体系的に学習し、数理解析法と実験計測法の修得を通じて、理工学分野にて幅広く活用できる科学的思考力・分析力・創造力を有した人材の養成を目的とする。

(4) 応用物理学臨床工学専攻は、先端高度医療の発展に不可欠な物理学や医用工学の基礎知識を習得し、最新医療機器の取り扱いに習熟して、高度な専門医療と医療機器に関する知識を持って、進歩し続ける医療機器の変化に対応できる技術と能力を有した人材の養成を目的とする。

(5) 基礎理学科は、自然科学、数理学、情報科学の基礎的総合的学習と、複数の分野が融合する学際領域の研究体験を通して、教育界や産業界など各界で実践的に活躍できる人材の養成を目的とする。

(6) 生物化学科は、理学、医学、薬学、農学などの生命科学に関する基礎的研究を相互に融合させ、バランスを配慮した教育研究を行うことにより、バイオサイエンスの生物学的、化学的基礎知識と応用技術を兼ね備えた人材の養成を目的とする。

(7) 臨床生命科学科は、理学的な考え方を通じて生命科学に取り組むと同時に、「基礎医科学コース」「臨床科学コース」の2つのコースで医学的知識や技術を習得し、生命・医療に関連した教育と研究を目指している。また教育研究を通じて生命現象の真理を探究し、広い視野と高度な専門性を備え、高い問題解決能力を持ったバランスのとれた人材の養成を目的とする。

(8) 動物学科は、理学の根源的な知的好奇心に発する、広く深い博物学・基礎生物学の伝統に根差して、人間社会と自然の調和を図り、持続可能な人類の未来創造のための基礎や応用を築く人材の養成を目的とする。

3 工学部は、ものづくりに必要な知識と技能を修得し、協働してそれを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、科学技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

(1) バイオ・応用化学科は、化学と生物学の基礎を十分に修得した上で、「応用化学」と「バイオテクノロジー」を中心とする学際的な教育と研究を通して、幅広い専門的な知識と技能を有し、かつ、環境や社会への影響を考慮して自ら発想し、構想し、行動する能力を身につけた人材の養成を目的とする。

(2) 機械システム工学科は、進歩の著しい「もの作り」社会に対応できるよう、基礎となる知識の修得とそれを応用する能力を身につけ、人と自然に優しい機械システムを構築できる創造性のあるエンジニアの養成を目的とする。

(3) 電気電子システム学科は、「エネルギー」と「情報」を対象に「エレクトロニクス」を手段として扱う電気電子工学の分野の幅広い領域に渡る教育研究を通して、問題解決能力、柔軟で総合的な判断力、グローバルな視野からの発想力、論理的思考力、自己の考えの伝達力などを身につけた電気電子技術者の養成を目的とする。

(4) 情報工学科は、ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークを含む情報システムに関する知識と技能を教授し、システム構築のための実験実習による教育や技術発展を目指した研究を通して思考力や判断力を身につけさせ、情報化社会の基幹専門分野で活躍できる主体性と倫理観を備えた人材の養成を目的とする。

(5) 知能機械工学科は、人に優しく人間社会の中で働くことのできる知能的機械システムを創造するために必要な、機械工学系の基本知識・技術、知能情報処理関連技術、ユニバーサルデザインの設計理念を併せもち、総合的に知能的機械システムを創造することができる技術者・研究者を養成する。

(6) 生命医療工学科は、工学技術と手法を利用して生物・生体の構造と機能を解析するとともに、得られる知見を医学・工学へ応用するための教育と研究を行い、医学・生物学を理解し、人類の健康と福祉に貢献する工学技術者、研究者の養成を目的とする。

(7) 建築学科は、建築・まちづくりに必要な知識と技能を修得し、協働してそれを活用し得る能力、地球的視野から多面的に物事を理解し判断し得る能力、そして技術者としての倫理観を備え、建築技術を通して技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

- (8) 工学プロジェクトコースは、学科横断的に工学科目を学ぶことにより、工学全般についての幅広い知識と技能および視野を身につけるとともに、グループによるものづくりプロジェクトを通して実践力、コミュニケーション力、調整力、協調性などをもったゼネラリスト技術者の養成を目的とする。
- 4 総合情報学部は、情報通信技術とその基礎となる数理を学び、論理的で数理的な思考力を身につけ、高度情報社会を支え発展させ、入学者の将来の可能性を個々の能力に応じて最大限に引き出し、社会に貢献できる人材の養成を目的とする。
- (1) 情報科学科は、情報通信技術とその基礎となる数理を学び、論理的で数理的な思考力を身につけ、高度情報社会を支え発展させ、入学者の将来の可能性を個々の能力に応じて最大限に引き出し、社会に貢献できる人材の養成を目的とする。
- 5 生物地球学部は、生物学・農学・地球科学・天文学・地理学・考古学・古生物学に係わる学際的な幅広い分野を体系的に教育することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな現代社会の問題解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
- (1) 生物地球学科は、生物学・農学・地球科学・天文学・地理学・考古学・古生物学に係わる学際的な幅広い分野を体系的に教育することにより、地球温暖化、大気汚染、自然災害、生物多様性の減少など、さまざまな現代社会の問題解決に貢献できる判断力と実行力を持つ人材の養成を目的とする。
- 6 教育学部は、教育に関する基礎理論及び初等・中等教育の各教科内容と指導法の研究を通じて、教育の本質を深く理解し、児童・生徒への豊かな教育的愛情をもち、変動する社会の中で確かな使命感をもって教育にたずさわり、さまざまな教育課題に真摯に取り組むことのできる人材の養成を目的とする。
- (1) 初等教育学科は、理科教育の重要性を認識し、小学校教員としての強い使命感、熱意、教育的愛情をもち、同僚と組織的に協働し、家庭・地域と連携して教育に取り組み、子どもや保護者、地域社会から信頼され、学び続ける姿勢と実践的指導力を備えた人材の養成を目的とする。
- (2) 中等教育学科は、幅広い教養と教育学を基礎に、国語・英語の運用能力並びに教科の内容と指導法を系統的に修得し、現代社会やグローバル社会の情勢に強い関心と探究のまなざしを向け、人々の関わり（コミュニケーション）の基盤となる言語の力を次代に引き継ぐ確かな使命感と指導力を備えた人材の養成を目的とする。
- 7 経営学部は、広義のマネジメントに関する社会諸科学の学びを通して、体系的な理論教育と応用的な実践教育の融合を追究する教育を実践することで、複雑化・国際化が加速する現代社会に対する理解力とクリエイティブな力を身につけ、問題発見・解決能力を養い、高めていくことを教育研究上の目的とする。
- (1) 経営学科は、サービスを中心とした現代社会におけるイノベーションを「経済的付加価値の創造」として位置付け、マネジメント能力を基盤として、学生一人ひとりが自らの可能性に挑戦し、深い教養や専門知識及び総合的な判断力を身につけた社会人基礎力を有し、企業や自治体等の組織を変革する能力、及び経営を担える人材を養成することを目的とする。

(方針の策定及び明示)

第2条の4 本大学は、学部、学科の教育研究上の目的並びに人材養成の目的を達成するため、入学者受入れの方針、教育課程編成・実施の方針及び学位授与の方針を定め、これを明示する。

(修業年限)

第3条 本大学の修業年限は、4年とする。

2 大学の学生以外の者で、本大学において一定の単位を修得した者が本大学に入学した場合、修得した単位数その他の事項を勘案して相当期間（2年以内）を修業年限に通算することができる。

(在学期間)

第4条 前条の年限は、疾病その他の事由により延長することはできるが、在学期間は8年をこえることはできない。

第2章 学年・学期及び休業日

(学年)

第5条 春入学者の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 秋入学者の学年は、9月11日に始まり、翌年9月10日に終る。

(学期)

第6条 学年を分けて次の2期とする。

春学期 4月1日から9月10日

秋学期 9月11日から翌年3月31日

2 前項に定める各学期を前半及び後半に分けることができるものとする。

(休業日)

第7条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。ただし、教育上必要がある時は、休日又は休業日に授業を行うことができる。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 創立者の日 4月30日
- (4) 創立記念日 5月4日
- (5) 春季休業
- (6) 夏季休業
- (7) 冬季休業

2 前項第5号から第7号までの休業日については、年度ごとに学長が定める期間とする。

3 臨時の休業日は、そのつと学長が定める。

第3章 授業科目及び単位数

(科目の区分)

第8条 各学部において開設する授業科目の区分は、専門教育科目、外国語教育科目、教養教育科目、プロジェクト科目、教職関連科目、博物館学芸員関連科目とする。

(授業科目)

第9条 授業科目は、教育課程編成・実施の方針に基づき、相互の関連性及び学修内容の順次性をふまえ、体系的に整備するものとする。

2 授業科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりとする。

- (1) 理学部は別表Ⅰのとおりとする。
- (2) 工学部は別表Ⅱのとおりとする。
- (3) 総合情報学部は別表Ⅲのとおりとする。
- (4) 生物地球学部は別表Ⅳのとおりとする。
- (5) 教育学部は別表Ⅴのとおりとする。
- (6) 経営学部は別表Ⅵのとおりとする。

第10条 削除

(授業科目の単位数の基準)

第11条 1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 1つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、第1号及び第2号に規定する基準を考慮して、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(授業の方法)

第11条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本大学は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第25条第2項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

- 3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 本大学は、大学設置基準第25条第4項の規定に基づき文部科学大臣が別に定めるところにより（文科省告示第43号）、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。
- 5 第2項に関する規程は、別に定める。

（成績評価基準等の明示等）

- 第11条の3 本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定にあたっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（ファカルティ・ディベロップメント）

- 第11条の4 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

第4章 入学・休学・退学

（入学）

- 第12条 入学は学年の始めとする。

- 第13条 本大学の第1年次学生として入学することができる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第一号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (7) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

- 第14条 本大学に入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて本大学に願出しなければならない。

- 2 入学願書の受付期間は別に定める。
- 3 前項の規定は、第18条、第21条、及び第28条の規定により入学を志望する場合にもこれを準用する。

- 第15条 入学志望者については、入学者受入れの方針に基づき、学力及び人物について選考する。

- 第16条 入学試験合格者は当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

（入学手続）

- 第17条 入学試験合格者は、指定の期日までに入学金、授業料及びその他の諸納付金を納入するとともに、保証人連署の誓約書、卒業証明書等を提出し、かつ所定の宣誓をしなければならない。

- 2 入学試験合格者が故なくして、前項の手続きを怠るときは、合格の許可を取り消すことがある。
- 3 第1項の手続きを完了した者に対して学長は入学許可を与える。
- 4 編入学、転入学、及び再入学の場合も同様とする。

（編入学）

- 第18条 本大学の2年次以降に欠員のある場合には、別に定める資格を有する者を選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が編入学を許可することができる。

- 2 編入学（短期大学を卒業した者を含む。）に関する規程は別に定める。

（転学部・転学科）

第19条 学生が所属学部から他へ転部しようとする時は、教育上支障がない場合に限り、受入先の学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

2 学生が所属学部内において他学科への転科しようとする時は、教育上支障がない場合に限り、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

3 転学部、転学科に関して必要な事項は別に定める。

(転入学)

第20条 学生が他の大学へ転学、又は他の大学への入学を志願しようとするときは、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第21条 他の大学から転入学を志願する者については、教育上支障がない場合に限り、選考の上、当該学部教授会の審議を経て、学長が許可することがある。

2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

(休学)

第22条 学生は、疾病その他の事由により、引続き3月以上就学困難な場合は、医師の診断書または、詳細な事由書を添えて、保証人連署をもって学長に願い出て、許可を受け休学することができる。

2 疾病その他の事由により、修学することが適当でないと認められる学生に対しては、学長は、当該学部教授会の審議を経て、期間を定めて休学を命ずることがある。

第23条 休学の期間は、引続き1年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、さらに1年以上の休学を許可することがある。

第24条 休学期間は、通算して修業年限に相当する年数を超えることはできない。

第25条 休学期間は、在学期間に算入しない。

第26条 休学期間内であっても、事由が消滅し、就学しようとするときは、復学願を提出して学長の許可を受けて復学することができる。

(退学)

第27条 学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出て許可を受けなければならない。

(再入学)

第28条 次の各号の一に該当する者が所定の手続きを経て入学を願い出たときは前条の規定にかかわらず、当該学部教授会の審議を経て、学長が入学を許可することがある。

(1) 本大学を卒業し、さらに同一学部内の他の学科又は、他の学部・学科に入学を願い出た者

(2) 本大学を前条により退学し、同一学科に再入学を願い出た者

(3) 第40条第2号により除籍された者で、再入学を願い出た者

2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、当該学部教授会の審議を経て、学長が決定する。

第5章 授業科目の履修単位修得の認定及び卒業

(授業科目の履修及び単位修得の認定)

第29条 学生は、在学中所定の授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

2 一つの授業科目を履修した者に対しては、認定の上所定の単位を与える。

3 単位修得の認定は、試験その他によって行なう。

4 授業科目の履修及び単位修得の認定に関しては、前3項のほか、別に定める規程に基づくものとする。

(学習の評価)

第30条 試験の成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の評価をもってし、不可（D）は不合格とする。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第31条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を越えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。
- 3 前2項に関する規程は、別に定める。

（大学以外の教育施設等における学修）

第31条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修のうち本大学が適当と認めるものを、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項の規定により授与することのできる単位数は、前条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を越えないものとする。
- 3 前2項に関する規程は、別に定める。

（入学前の既修得単位等の認定）

第32条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本大学に入学した後の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第31条第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を越えないものとする。
- 4 前3項に関する規程は、別に定める。

（卒業）

第33条 本大学に4年以上在学し、次表の単位数を満たした者に対して当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

学 部	学 科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科	124以上
	化学科	
	応用物理学科	
	物理科学専攻	
	臨床工学専攻	
	基礎理学科	
	生物化学科	
	臨床生命科学科 動物学科	
工 学 部	バイオ・応用化学科	124以上
	機械システム工学科	
	電気電子システム学科	
	情報工学科	
	知能機械工学科	
	生命医療工学科	
	建築学科 工学プロジェクトコース	
総合情報学部	情報科学科	124以上

生物地球学 部	生物地球学科	124以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	124以上
経営学部	経営学科	124以上

(1) 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科	84以上
	化学科	
	応用物理学科	
	物理科学専攻	
	臨床工学専攻	
	基礎理学科	
	生物化学科	
	臨床生命科学科 動物学科	
工 学 部	バイオ・応用化学科	82以上
	機械システム工学科	
	電気電子システム学科	
	情報工学科	
	知能機械工学科	
	生命医療工学科	
	建築学科	
	工学プロジェクトコース	78以上
総合情報学 部	情報科学科	80以上
生物地球学 部	生物地球学科	78以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	80以上
経営学部	経営学科	80以上

(2) 外国語教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修得すべき単位数
理 学 部	応用数学科	10以上
	化学科	
	応用物理学科	
	物理科学専攻	
	臨床工学専攻	
	基礎理学科	
	生物化学科	
	臨床生命科学科 動物学科	

工学部	バイオ・応用化学科 機械システム工学科 電気電子システム学科 情報工学科 知能機械工学科 生命医療工学科 建築学科 工学プロジェクトコース	10以上
総合情報学部	情報科学科	10以上
生物地球学部	生物地球学科	10以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	10以上
経営学部	経営学科	10以上

(3) 教養教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学部	学 科	修得すべき単位数
理学部	応用数学科 化学科 応用物理学科 物理科学専攻 臨床工学専攻 基礎理学科 生物化学科 臨床生命科学科 動物学科	19以上
工学部	バイオ・応用化学科 機械システム工学科 電気電子システム学科 情報工学科 知能機械工学科 生命医療工学科 建築学科	19以上
	工学プロジェクトコース	15以上
総合情報学部	情報科学科	19以上
生物地球学部	生物地球学科	19以上
教育学部	初等教育学科 中等教育学科	12以上
経営学部	経営学科	14以上

(早期卒業)

第33条の2 前条の規定にかかわらず、本大学に3年以上在学し、卒業の要件として修得すべき単位を優秀な成績をもって修得した学生が、学校教育法第89条に規定する卒業（以下「早期卒業」という。）を希望する場合は、当該学部教授会の審議を経て、学長が卒業を認めることができる。ただし、早期卒業の認定を行う学部にあつては、その卒業認定の基準を定め、公表しておかなければならない。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

3 本大学に他の大学から編転入学した者にかかわる早期卒業の必要在学年数については、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第149条の定めるところによる。

(資格)

第33条の3 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、次の免許状を取得する資格が与えられる。

学 部	学 科	免許状の種類	教 科
理 学 部	応用数学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報
	化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	応用物理学科 物理科学専攻	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
	応用物理学科 臨床工学専攻	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
基礎理学科	中学校教諭一種免許状	数学・理科	
	高等学校教諭一種免許状	数学・理科・情報	
生物化学科	中学校教諭一種免許状	理科	
	高等学校教諭一種免許状	理科	
臨床生命科学科	中学校教諭一種免許状	理科	
	高等学校教諭一種免許状	理科	
動物学科	中学校教諭一種免許状	理科	
	高等学校教諭一種免許状	理科	
工 学 部	バイオ・応用化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	機械システム工学科	中学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	工業
	電気電子システム学科	中学校教諭一種免許状	技術
		高等学校教諭一種免許状	工業・情報
	情報工学科	中学校教諭一種免許状	技術
高等学校教諭一種免許状		工業・情報	
知能機械工学科	中学校教諭一種免許状	技術	
	高等学校教諭一種免許状	工業	
生命医療工学科	中学校教諭一種免許状	技術	
	高等学校教諭一種免許状	工業	
建築学科	中学校教諭一種免許状	技術	
	高等学校教諭一種免許状	工業	
総合情報 学 部	情報科学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報
生物地球 学 部	生物地球学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科
教育学部	初等教育学科	小学校教諭一種免許状	
	中等教育学科	中学校教諭一種免許状	国語・英語
高等学校教諭一種免許状		国語・英語	
経営学部	経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民

2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第33条の4 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、博物館学芸員の資格を取得する資格が与えられる。

2 前項の授業科目及びその履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

第33条の5 本大学臨床生命科学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員の養成課程を置く。

2 食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格を取得しようとする者は、食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の指定基準に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格が与えられる。

3 前項に関して必要な事項は、別に定める。

(学位)

第34条 本大学の卒業を認定された者に対し、学位授与の方針に基づき、次の学位を授与する。

理学部	学士（理学）
工学部	学士（工学）
総合情報学部	学士（総合情報学）
生物地球学部	学士（理学）
教育学部	学士（教育学）
経営学部	学士（経営学）

2 学位の授与に関し必要な事項については、本大学学位規程の定めるところによる。

第6章 表彰・懲戒及び除籍

(表彰)

第35条 学生が他の模範となる行為をしたときは、当該学部教授会の審議を経て、学長が表彰することがある。

2 表彰に関する規程は別に定める。

(懲戒)

第36条 学生が本大学の諸規則に違反し、学内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の審議を経て、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒に関する規程は別に定める。

第37条 懲戒の種類は次のとおりとする。

訓	告
停	学
退	学

第38条 学生が次の各号の一に該当するときは、学長は懲戒により退学を命ずることができる。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由がなく出席常でない者
- (4) 学内の秩序を乱し学生の本分に反した者

第39条 停学が引続き3以上にわたるときは、その期間は修業年限に算入しない。

(除籍)

第40条 学長は、次の各号の一に該当するとき、当該学生を除籍することができる。

- (1) 第4条の在学期間修業してなお卒業の認められない者
- (2) 正当な理由がなく授業料その他の諸納付金納入の義務を怠り、再三の督促を受けてもなお納入しない者

(3) 死亡又は失踪した者

第7章 入学検定料・入学金及び授業料その他

第41条 本大学の入学検定料、入学金及び授業料等は別表Ⅷのとおりとする。

第42条 演習及び実習などに要する費用は別に徴収する。

第43条 前2条の諸納付金は、別に定める規程により納入しなければならない。

2 所定の期日までに納付金の納入を怠っている者は、それを納入するまで授業及び試験に出席すること、並びに附属図書館備えつけの図書を閲覧することを禁止することがある。

第44条 休学者の納付金の取り扱いは別に定める。

第45条 転学、退学及び停学者は、その期の諸納付金は納入しなければならない。

第46条 在学中諸納付金（授業料を除く。）に変更あるときは、新たに定められた金額をその期から納入しなければならない。

第47条 既納の納付金は一切返さない。

第8章 科目等履修生・単位互換履修生・研究生・委託生

(科目等履修生)

第48条 本大学生以外の者で本大学の特定の授業科目について履修を願った者があるときは、授業に支障をきたさない限り選考の上、学長は、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生の検定料・入学金及び履修料は、別表ⅩⅠのとおりとする。

3 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(単位互換履修生)

第49条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該大学の学生で、本大学の授業科目を履修しようとする者があるときは、学長は、単位互換履修生として許可することがある。

2 前項に関する規程は、別に定める。

(研究生)

第50条 本大学に研究生を受け入れることができる。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

(委託生)

第51条 公共団体その他の機関から本大学特定の授業科目について修学を委託されたときは、授業に支障をきたさない限り、選考の上、学長は委託生として許可することがある。

2 委託生に関する規程は、別に定める。

第9章 外国人留学生

(外国人留学生)

第52条 日本国以外に居住する外国人又は大学入学を目的として本国に入学している外国人で、本大学の学部学生、科目等履修生、研究生又は委託生として入学を志願する者がある時は選考の上、学長は、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第53条 削除

第10章 特待生及び奨学生

第54条 学生にして学力優秀品行方正かつ身体強健なる者を特待生とすることがある。

第55条 前条に関する規程は別に定める。

第11章 教職員組織

第56条 本大学に学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の教職員を置く。

第12章 運営組織

(運営組織)

第57条 学校教育法(昭和22年法律第26号)第93条第1項の規定に基づき、本大学に教授会に相当する組織を置く。

2 前項については、学長が別に定める。

(大学協議会)

第58条 本大学に大学協議会を置く。

2 大学協議会は、本大学の教学に関する全学的事項を審議し、学長に最終的な意見として意見を述べるものとする。

3 大学協議会に関する規程は別に定める。

第59条 削除

第60条 削除

(学部教授会)

第61条 本大学の各学部に学部教授会を置く。

2 各学部教授会は、学部専任の教授、准教授、講師及び助教並びに学部教授会があらかじめ定めた学部所属以外の専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

3 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、学部教授会等の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

4 各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

第62条 学部教授会に関する規程は別に定める。

第13章 専攻科

(目的)

第63条 本大学理学専攻科は、理学に関する高度な学術研究の場を与えるとともにより精深な研究の指導を行なうことを目的とする。

(名称及び学生定員)

第64条 本大学専攻科には、次の専攻科を置き学生定員を次のとおりとする。

理学専攻科	入学定員	収容定員
応用数学専攻	5名	5名
化学専攻	5名	5名
応用化学専攻	5名	5名

応用物理学専攻	5名	5名
機械理学専攻	5名	5名
電子理学専攻	5名	5名

(修業年限)

第65条 本大学専攻科の修業年限は1年とする。

(入学)

第66条 本大学専攻科に入学できる者は、学校教育法第91条第2項、学校教育法施行規則第155条第1項の定めるところにより、次の各号に該当するものとする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 外国において学校教育法における16年の課程を修了した者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) その他本大学において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第67条 前条の規定により入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて、本大学に願出しなければならない。

2 入学願書の受付期間は別に定める。

(授業科目及び単位数)

第68条 本大学の専攻科における専攻科目及び単位数は別表Ⅶのとおりとする。

(履修方法)

第69条 本大学専攻科の学生は1年以上在学し、特別講義12単位・特別研究20単位の合計32単位以上を修得しなければならない。

第70条 本大学専攻科に1年以上在学し、所定の科目を履修し、単位を修得した者に対して、学長は学部教授会の審議を経て、修了と認定し修了証書を授与する。

2 教育職員免許状を得ようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して専攻科を修了する者には、応用数学専攻にあつては数学、化学専攻・応用化学専攻・応用物理学専攻・機械理学専攻・電子理学専攻にあつては、理科の中学校教諭専修免許状並びに高等学校教諭専修免許状を取得する資格が与えられる。

(入学検定料・入学金及び授業料その他)

第71条 本大学専攻科の入学検定料・入学金及び授業料等は別表Ⅸのとおりとする。

第14章 大学院

(大学院)

第72条 本大学に大学院を置く。

2 前項に関する学則は別に定める。

第15章 教職特別課程

(教職特別課程)

第73条 本大学に教職特別課程を置く。

2 前項に関する規程は別に定める。

3 本課程の入学検定料・入学金及び授業料等は別表Ⅹのとおりとする。

第16章 留学生別科

(留学生別科)

- 第74条 本大学に留学生別科を置く。
- 2 留学生別科の定員は60名とする。
 - 3 留学生別科に関する規程は別に定める。

第17章 機 構

(機構)

- 第75条 本大学の方針に基づき、教育の充実、学生支援の充実及び研究の推進を組織的に展開し、質の向上を図るため、次の機構を置く。
- (1) 教育支援機構
 - (2) 学生支援機構
 - (3) 研究・社会連携機構
- 2 前項各号に関する規程は別に定める。

第18章 附 属 施 設

(附属施設)

- 第76条 本大学に次の附属施設を置く。
- (1) 図書館
 - (2) 情報処理センター
 - (3) 自然科学研究所
 - (4) 技術科学研究所
 - (5) 自然フィールドワークセンター
 - (6) ワイン発酵科学センター
 - (7) 総合機器センター
 - (8) 工作センター
 - (9) 健康管理センター
 - (10) 蒜山学舎
 - (11) 寄宿舍
- 2 前項各号に関する規程は、別に定める。

第19章 雑 則

(改正)

- 第77条 岡山理科大学学則の改正は、学部教授会及び大学協議会の審議を経て、理事会で決定する。

附 則

この学則は昭和39年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和39年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和41年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和44年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和46年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和48年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生（応用物理学科47年度入学生は除く）は、第9条、第10条、第33条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和49年1月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和49年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和50年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和51年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第41条、第70条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和52年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和53年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第41条、第70条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和53年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和54年3月31日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第70条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和54年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和55年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条については従前の規定による。

なお、第2条の応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻の総定員については、昭和55年度60名、昭和56年度120名、昭和57年度180名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和55年8月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和56年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第41条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の電子理学科の総定員については、昭和56年度420名、昭和57年度440名、昭和58年度460名、基礎理学科の総定員については、昭和56年度340名、昭和57年度360名、昭和58年度380名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和57年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の応用物理学科の総定員については、昭和57年度420名、昭和58年度440名、昭和59年度460名、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和57年度60名、昭和58年度120名、昭和59年度180名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は昭和58年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和60年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第41条、第44条、第69条については従前の規定によるものとし第10条の基礎理学科の専門教育科目およびその単位数については、昭和58年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は昭和61年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は第9条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については、従前の規定による。

なお、第2条の工学部応用化学科応用化学専攻、開発化学専攻、機械工学科機械基礎工学専攻、産業機械工学専攻、電子工学科電子工学専攻、情報・システム専攻の総定員については、昭和61年度60名、昭和62年度120名、昭和63年度180名と読み替えるものとし、理学部応用化学科応用化学専攻、環境化学専攻、機械理学科、電子理学科電子物性専攻、情報・システム専攻については、昭和61年度より募集停止とする。

また、第2条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	60名
情報・システム専攻	60名
計	890名

附 則

この改正学則は昭和62年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第10条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

附 則

この改正学則は昭和62年7月1日から施行する。

附 則

この改正学則は昭和63年4月1日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第41条、第44条、第69条については従前の規定による。

なお、第2条の理学部生物化学科の総定員については、昭和63年度100名、平成元年度200名、平成2年度300名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は平成 元年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成2年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第10条、第33条、第66条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成3年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条については、従前の規定によるものとし、第10条第2項の電子工学科の専門教育科目特別講義およびその単位数については、昭和63年度入学生より適用するものとする。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	80名
情報専攻	80名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	
電子工学専攻	100名
情報・システム専攻	100名
計	1,070名

附 則

この改正学則は平成3年9月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成4年2月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成4年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第10条、第33条については、従前の規定による。

なお、第2条の工学部電子工学科の総定員については、平成4年度440名、平成5年度400名、平成6年度360名、工学部情報工学科の総定員については、平成4年度80名、平成5年度160名、平成6年度240名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	120名
情報専攻	120名
化学科	120名
応用物理学科	130名
基礎理学科	140名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	80名
開発化学専攻	80名

機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
計	1,250名

附 則

この改正学則は平成4年12月21日から施行する。

附 則

この改正学則は平成5年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は第2条、第8条、第9条、第10条、第11条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は平成5年4月26日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年5月23日から施行する。

附 則

この改正学則は平成6年7月18日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、平成7年度から平成9年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成7年度	平成8年度	平成9年度
理学部			
応用数学科			
数学専攻	270名	260名	250名
情報専攻	270名	260名	250名
化学科	390名	380名	370名
応用物理学科	460名	440名	420名
基礎理学科	380名	360名	340名
生物化学科	400名	400名	400名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	220名	220名	180名
精密化学専攻	220名	220名	180名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名
計	3,730名	3,620名	3,510名

なお、第2条の規定にかかわらず、平成7年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	
数学専攻	110名
情報専攻	110名

化学科	110名
応用物理学科	110名
基礎理学科	120名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
開発化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
産業機械工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
計	1,140名

附 則

この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、第2条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成9年度	平成10年度	平成11年度
理学部			
応用数学科	440名	360名	300名
化学科	365名	350名	345名
応用物理学科	390名	340名	310名
基礎理学科	325名	290名	275名
生物化学科	400名	400名	400名
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	180名	160名	160名
精密化学専攻	180名	160名	160名
機械工学科			
機械基礎工学専攻	240名	240名	240名
機械システム工学専攻	240名	240名	240名
電子工学科	320名	320名	320名
情報工学科	320名	320名	320名
総合情報学部			
数理情報学科	50名	100名	150名
シミュレーション物理学科	40名	80名	120名
生物地球システム学科	70名	140名	210名
社会情報学科	70名	140名	210名
計	3,630名	3,640名	3,760名

また、第2条の規定にかかわらず、平成9年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	入学定員
理学部	
応用数学科	110名
化学科	105名
応用物理学科	80名

基礎理学科	105名
生物化学科	100名
工学部	
応用化学科	
応用化学専攻	60名
精密化学専攻	60名
機械工学科	
機械基礎工学専攻	60名
機械システム工学専攻	60名
電子工学科	120名
情報工学科	120名
総合情報学部	
数理情報学科	100名
シミュレーション物理学科	40名
生物地球システム学科	70名
社会情報学科	70名
計	1,260名

なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第11条、第33条については、従前の規定による。

さらに、第9条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのB2群の授業科目「企業情報特論」およびその単位数については、平成5年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅰ・別表ⅡのD群の授業科目およびその単位数については、平成9年度在学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第11条、第33条については従前の規定による。

また、第2条に定める理学部生物化学科臨床生物化学専攻編入学定員2名については、平成14年度より適用するものとする。

さらに、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱの授業科目「企業等体験実習」およびその単位数については平成5年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第9条、第11条、第13条、第31条、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名	名	名	名
応用数学科	240	240	240	240	240
化学科	340	340	340	340	340
応用物理学科	280	280	280	280	280
基礎理学科	260	260	260	260	260
生物化学科					
生物化学専攻	400	400	400	400	400
臨床生物化学専攻	80	120	162	162	162
工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	160	160	160	160	160

精密化学専攻	160	160	160	160	160
機械工学科					
機械基礎工学専攻	240	240	240	240	240
機械システム工学専攻	240	240	240	240	240
電子工学科	320	320	320	320	320
情報工学科	320	320	320	320	320
総合情報学部					
数理情報学科	200	200	200	200	200
シミュレーション物理学科	160	160	160	160	160
生物地球システム学科	280	280	280	280	280
社会情報学科	280	280	280	280	280
計	3,960	4,000	4,042	4,042	4,042

また、第2条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名	名	名	名
応用数学科	105	100	95	90	85
化学科	103	101	99	97	95
応用物理学科	79	78	77	76	75
基礎理学科	101	97	93	89	85
生物化学科					
生物化学専攻	100	100	100	100	100
臨床生物化学専攻	40	40	42	42	42
工学部					
応用化学科					
応用化学専攻	58	56	54	52	50
精密化学専攻	58	56	54	52	50
機械工学科					
機械基礎工学専攻	60	60	60	60	60
機械システム工学専攻	60	60	60	60	60
電子工学科	116	112	108	104	100
情報工学科	116	112	108	104	100
総合情報学部					
数理情報学科	95	90	85	80	75
シミュレーション物理学科	40	40	40	40	40
生物地球システム学科	70	70	70	70	70
社会情報学科	70	70	70	70	70
計	1,271	1,242	1,215	1,186	1,157

附 則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第31条、第31条の2、第32条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名	名	名
応用数学科	240	240	240	240
化学科	340	340	340	340
応用物理学科	280	280	280	280
基礎理学科	260	260	260	260

生物化学科				
生物化学専攻	400	400	400	400
臨床生物化学専攻	120	162	162	162
工学部				
応用化学科				
応用化学専攻	160	160	160	160
生物・環境化学専攻	160	160	160	160
機械システム工学科	445	410	375	340
電子工学科	320	320	320	320
情報工学科	320	320	320	320
福祉システム工学科	70	140	210	280
総合情報学部				
情報科学科	225	250	275	300
シミュレーション物理学科	160	160	160	160
生物地球システム学科	280	280	280	280
社会情報学科	280	280	280	280
計	4,060	4,162	4,222	4,282

また、第2条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名	名	名
応用数学科	100	95	90	85
化学科	101	99	97	95
応用物理学科	78	77	76	75
基礎理学科	97	93	89	85
生物化学科				100
生物化学専攻	100	100	100	42
臨床生物化学専攻	40	42	42	45
工学部				50
応用化学科				85
応用化学専攻	51	49	47	100
生物・環境化学専攻	56	54	52	100
機械システム工学科	85	85	85	70
電子工学科	112	108	104	100
情報工学科	112	108	104	40
福祉システム工学科	70	70	70	70
総合情報学部				70
情報科学科	115	110	105	
シミュレーション物理学科	40	40	40	
生物地球システム学科	70	70	70	
社会情報学科	70	70	70	
計	1,297	1,297	1,241	1,212

附 則

この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の理学部応用物理学科物理科学専攻の収容定員については、平成14年度40名、平成15年度80名、平成16年度120名、応用物理学科医用科学専攻の収容定員については、平成14年度30名、平成15年度60名、平成16年度90名と読み替えるものとする。

さらに、第2条の総合情報学部コンピュータシミュレーション学科の収容定員については、平成14年度40名、平成15

年度80名、平成16年度120名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成14年度	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名	名
応用数学科	95	90	85
化学科	99	97	95
応用物理学科			
物理科学専攻	47	46	45
医用科学専攻	30	30	30
基礎理学科	93	89	85
生物化学科			
生物化学専攻	100	100	100
臨床生物化学専攻	42	42	42
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	49	47	45
生物・環境化学専攻	54	52	50
機械システム工学科	85	85	85
電子工学科	108	104	100
情報工学科	108	104	100
福祉システム工学科	70	70	70
総合情報学部			
情報科学科	110	105	100
コンピュータシミュレーション学科	40	40	40
生物地球システム学科	70	70	70
社会情報学科	70	70	70
計	1,270	1,241	1,212

附 則

この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の総合情報学部社会情報学科地域人間情報専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名、社会情報学科情報社会システム専攻の収容定員については、平成15年度35名、平成16年度70名、平成17年度105名と読み替えるものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成15年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成15年度	平成16年度
理学部	名	名
応用数学科	90	85
化学科	97	95
応用物理学科		
物理科学専攻	46	45
医用科学専攻	30	30
基礎理学科	89	85
生物化学科		
生物化学専攻	100	100
臨床生物化学専攻	42	42
工学部		
応用化学科		
応用化学専攻	47	45

生物・環境化学専攻	52	50
機械システム工学科	85	85
電子工学科	104	100
情報工学科	104	100
福祉システム工学科	70	70
総合情報学部		
情報科学科	105	100
コンピュータシミュレーション学科	40	40
生物地球システム学科	70	70
社会情報学科		
地域人間情報専攻	35	35
情報社会システム専攻	35	35
計	1,241	1,212

附 則

この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。

なお、第2条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	名	名	名
理学部			
応用数学科	265	290	315
化学科	340	340	340
応用物理学科	70		
物理科学専攻	125	175	175
医用科学専攻	90	120	120
基礎理学科	270	280	290
生物化学科	90	180	270
生物化学専攻	300	200	100
臨床生物化学専攻	120	80	40
臨床生命科学科	80	160	240
小 計	1750	1820	1890
工学部			
応用化学科			
応用化学専攻	165	170	175
生物・環境化学専攻	165	170	175
機械システム工学科	345	350	355
電子工学科	330	340	350
情報工学科	350	380	410
福祉システム工学科	280	280	280
小 計	1635	1690	1745
総合情報学部			
情報科学科	315	330	345
コンピュータシミュレーション学科	160	160	160
生物地球システム学科	290	300	310
社会情報学科	140	70	
地域人間情報専攻	70	105	140
情報社会システム専攻	70	105	140
小 計	1045	1070	1095
計	4430	4580	4730

附 則

この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。

なお、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については従前の規定による。ただし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「インターンシップ」およびその単位数については平成12年度入学生より適用するものとする。第2条の化学科の収容定員については、平成17年度335名、平成18年度330名、平成19年度325名と読み替えるものとする。

また、第2条の基礎理学科の収容定員については、平成17年度285名、平成18年度300名、平成19年度315名と読み替えるものとする。

さらに、第2条の知能機械工学科の収容定員については、平成17年度70名、平成18年度140名、平成19年度210名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「関係法規」、「基礎医学実習」、「薬理学」、「医用治療機器学」、「医用治療機器学実習」、「医用機器安全管理学実習」、「医用生体計測装置学実習」、「生体機能代行装置学実習Ⅰ」、「生体機能代行装置学Ⅱ」、「生体機能代行装置学実習Ⅱ」、「生体機能代行装置学Ⅲ」、「生体機能代行装置学実習Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅰ」、「臨床医学総論Ⅱ」、「臨床医学総論Ⅲ」、「臨床医学総論Ⅳ」、「臨床実習Ⅰ」、「臨床実習Ⅱ」、「臨床実習Ⅲ」、「臨床実習Ⅳ」およびその単位数については平成17年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅱの授業科目「技術マネジメント」およびその単位数については平成15年度入学生より適用するものとする。

また、次の3学科については、平成18年度の入学定員変更に伴い収容定員を読み替える。

(1) 化学科の入学定員を80名から75名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度325名、平成19年度315名、平成20年度305名と読み替えるものとする。

(2) 応用物理学科物理科学専攻の入学定員を45名から35名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度170名、平成19年度160名、平成20年度150名とする。また、応用物理学科医用科学専攻の入学定員を30名から40名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度130名、平成19年度140名、平成20年度150名と読み替えるものとする。

(3) 臨床生命科学科の入学定員を80名から85名に変更することに伴い、第2条の収容定員を平成18年度245名、平成19年度330名、平成20年度335名と読み替えるものとする。

附 則

この改正学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「臨床医学特論Ⅰ」、「臨床医学特論Ⅱ」、「臨床医学特論Ⅲ」、「臨床医学特論Ⅳ」およびその単位数については平成17年度入学生より適用するものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成19年度から平成21年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成19年度より工学部生体医工学科、総合情報学部建築学科を設置し、総合情報学部コンピュータシミュレーション学科を募集停止とする。

学部・学科等	平成19年度	平成20年度	平成21年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	315	305	300
応用物理学科			
物理科学専攻	160	150	140
医用科学専攻	140	150	160
基礎理学科	315	320	320
生物化学科	360	360	360
臨床生命科学科	330	335	340
小 計	1,960	1,960	1,960

工学部			
バイオ・応用化学科	350	340	330
機械システム工学科	355	350	345
電気電子システム学科	340	320	300
情報工学科	415	390	365
福祉システム工学科	70		
知能機械工学科	210	280	280
生体医工学科	60	120	180
小 計	1,800	1,800	1,800
総合情報学部			
情報科学科	350	340	330
コンピュータシミュレーション学科	120	80	40
生物地球システム学科	320	320	320
社会情報学科	280	280	280
建築学科	80	160	250
小 計	1,150	1,180	1,220
計	4,910	4,940	4,980

附 則

この改正学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

なお、第9条に定める別表Ⅰ応用物理学科医用科学専攻の授業科目「特別研究」の必修・選択の別については、平成17年度入学生より適用するものとし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「キャリア形成講座」およびその単位数については平成13年度入学生より適用するものとする。

また、第2条の規定にかかわらず、平成20年度から平成22年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成20年度	平成21年度	平成22年度
理学部	名	名	名
応用数学科	340	340	340
化学科	305	300	300
応用物理学科			
物理科学専攻	145	130	125
医用科学専攻	150	160	160
基礎理学科	315	310	305
生物化学科	355	350	345
臨床生命科学科	335	340	340
動物学科	40	80	120
小 計	1,985	2,010	2,035
工学部			
バイオ・応用化学科	335	320	305
機械システム工学科	350	345	340
電気電子システム学科	320	300	280
情報工学科	390	365	340
知能機械工学科	270	260	250
生体医工学科	120	180	240
小 計	1,785	1,770	1,755
総合情報学部			
情報科学科	340	330	320
コンピュータシミュレーション学科	80	40	
生物地球システム学科	310	300	290
社会情報学科	280	280	280

建築学科	160	250	340
小計	1,170	1,200	1,230
計	4,940	4,980	5,020

附 則

この改正学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条、第44条については、従前の規定による。

なお、第33条第1項第2号から第4号については平成20年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

附 則

この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成23年度から平成25年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

なお、平成23年度より工学部建築学科を設置し、総合情報学部建築学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成23年度	平成24年度	平成25年度
理学部	名	名	名
応用数学科	350	360	370
化学科	295	290	285
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,065	2,070	2,075
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	235	230	225
生体医工学科	240	240	240
建築学科	70	140	215
小計	1,805	1,870	1,940
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	280	280	280
社会情報学科	290	300	310
建築学科	260	180	90
小計	1,150	1,080	1,000
計	5,020	5,020	5,015

平成17年4月から学生募集を停止した工学部福祉システム工学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成23年3月31日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成23年10月1日から施行する。ただし、第9条に定める別表Ⅰ・別表Ⅱ・別表Ⅲの授業科目「ボランティア活動Ⅰ」、「ボランティア活動Ⅱ」およびその単位数については平成14年度入学生より適用するものとする。

附 則

この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第30条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成24年度から平成26年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。
なお、平成24年度より生物地球学部生物地球学科を設置し、総合情報学部生物地球システム学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成24年度	平成25年度	平成26年度
理学部	名	名	名
応用数学科	360	370	380
化学科	290	285	280
応用物理学科			
物理科学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小 計	2,070	2,075	2,080
工学部			
パイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	230	225	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	140	215	290
小 計	1,870	1,940	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	210	140	70
社会情報学科	300	310	320
建築学科	180	90	0
小 計	1,010	860	710
生物地球学部			
生物地球学科	100	200	300
小 計	100	200	300
計	5,050	5,075	5,100

附 則

この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。なお、この改正前に入学した学生は、第8条、第9条、第30条、第33条については、従前の規定による。

ただし、第9条に定める別表Ⅳ生物地球学部生物地球学科の授業科目「日本史概論」およびその単位数は平成24年度入学生より適用するものとする。

附 則

平成19年4月から学生募集を停止した総合情報学部コンピュータシミュレーション学科については、当該学科の在学者がいなくなったため、平成25年4月30日をもって廃止する。

この改正学則は、平成25年5月1日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成26年度から平成28年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理学専攻	120	120	120
医用科学専攻	160	160	160
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生体医工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
生物地球システム学科	70	0	0
社会情報学科	320	320	320
建築学科	0	0	0
小計	710	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	320	440	460
小計	320	440	460
計	5,120	5,170	5,190

附 則

この改正学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成27年度から平成29年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成27年度	平成28年度	平成29年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380

化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	130	140	150
医用科学専攻	150	140	130
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	290	290	290
小計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	440	460	480
小計	440	460	480
計	5,170	5,190	5,210

附 則

この改正学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入學した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成28年度から平成30年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科等	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学部	名	名	名
応用数学科	380	380	380
化学科	280	280	280
応用物理学科			
物理科学専攻	140	150	160
臨床工学専攻	140	130	120
基礎理学科	300	300	300
生物化学科	340	340	340
臨床生命科学科	340	340	340
動物学科	160	160	160
小計	2,080	2,080	2,080
工学部			
バイオ・応用化学科	300	300	300
機械システム工学科	340	340	340
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	340	340	340
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240

建築学科	290	290	290
小 計	2,010	2,010	2,010
総合情報学部			
情報科学科	320	320	320
社会情報学科	320	320	320
小 計	640	640	640
生物地球学部			
生物地球学科	460	480	480
小 計	460	480	480
教育学部			
初等教育学科	70	140	210
中等教育学科	60	120	180
小 計	130	260	390
計	5,320	5,470	5,600

平成23年4月から学生募集を停止した総合情報学部建築学科については、当該学科の在学生在がいなくなったため、平成28年3月31日をもって廃止する。

附 則

この改正学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第33条については、従前の規定による。

また、第2条の規定にかかわらず、平成29年度から平成31年度までの学科・専攻及び収容定員は、次のとおりとする。なお、平成29年度より経営学部経営学科を設置し、総合情報学部社会情報学科は募集停止とする。

学部・学科等	平成29年度	平成30年度	平成31年度
理学部	名	名	名
応用数学科	395	410	425
化学科	285	290	295
応用物理学科			
物理科学専攻	155	170	175
臨床工学専攻	130	120	120
基礎理学科	315	330	345
生物化学科	350	360	370
臨床生命科学科	350	360	370
動物学科	165	170	175
小 計	2,145	2,210	2,275
工学部			
バイオ・応用化学科	310	320	330
機械システム工学科	345	350	355
電気電子システム学科	280	280	280
情報工学科	350	360	370
知能機械工学科	220	220	220
生命医療工学科	240	240	240
建築学科	295	300	305
小 計	2,040	2,070	2,100

総合情報学部			
情報科学科	340	360	380
社会情報学科	240	160	80
小計	580	520	460
生物地球学部			
生物地球学科	500	520	540
小計	500	520	540
教育学部			
初等教育学科	140	210	280
中等教育学科	120	180	240
小計	260	390	520
経営学部			
経営学科	130	260	390
小計	130	260	390
計	5,655	5,970	6,285

附 則

この改正学則は平成29年5月1日から施行する。

平成24年4月から学生募集を停止した総合情報学部生物地球システム学科については、当該学科の在学生在がいなくなったため、平成29年4月30日をもって廃止する。

別表Ⅰ 理学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別
 ただし、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得のために必要な教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目については、全学共通とする。

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

応用数学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分積分学と演習Ⅰ	2	表現とメディアの数理	2
微分積分学と演習Ⅱ	2	情報と職業	2
微分積分学と演習Ⅲ	2	情報化社会と倫理	2
微分積分学と演習Ⅳ	2	線型代数学と演習Ⅶ	2
線型代数学と演習Ⅰ	2	線型代数学と演習Ⅷ	2
線型代数学と演習Ⅱ	2	演算の数理Ⅰ	2
線型代数学と演習Ⅲ	2	演算の数理Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅳ	2	形の数理Ⅰ	2
情報リテラシー	2	形の数理Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅴ	2	偶然の数理Ⅰ	2
微分積分学と演習Ⅵ	2	偶然の数理Ⅱ	2
微分積分学と演習Ⅶ	2	現象の数理Ⅰ	2
微分積分学と演習Ⅷ	2	現象の数理Ⅱ	2
線型代数学と演習Ⅴ	2	集合と位相	2
線型代数学と演習Ⅵ	2	解析学と演習Ⅰ	2
計算機とアルゴリズムⅠ	2	解析学と演習Ⅱ	2
計算機とアルゴリズムⅡ	2	解析学と演習Ⅲ	2
卒業研究Ⅰ	4	解析学と演習Ⅳ	2
卒業研究Ⅱ	4	代数学と演習Ⅰ	2
		代数学と演習Ⅱ	2
		代数学と演習Ⅲ	2
		代数学と演習Ⅳ	2
		幾何学と演習Ⅰ	2
		幾何学と演習Ⅱ	2
		幾何学と演習Ⅲ	2
		幾何学と演習Ⅳ	2
		教職への数学Ⅰ	2
		教職への数学Ⅱ	2
		情報数学Ⅰ	2
		情報数学Ⅱ	2
		データの数理Ⅰ	2
		データの数理Ⅱ	2
		シミュレーションの数理	2
		現代数学入門	2
		システムの数理Ⅰ	2
		システムの数理Ⅱ	2
		特別講義Ⅰ	1
		特別講義Ⅱ	1
		教職基礎演習	1
		数学教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職基礎数学	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		数学基礎と演習Ⅰ	2
		数学基礎と演習Ⅱ	2

化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
無機化学Ⅰ	2	化学概論	2
無機化学Ⅱ	2	無機化学Ⅲ	2
有機化学Ⅰ	2	有機化学Ⅲ	2
有機化学Ⅱ	2	物理化学Ⅲ	2
物理化学Ⅰ	2	無機化学演習	2
物理化学Ⅱ	2	有機化学演習	2
分析化学Ⅰ	2	物理化学演習	2
分析化学Ⅱ	2	分析化学演習	2
化学実験Ⅰ	1.5	分析化学実験	3
化学実験Ⅱ	1.5	無機化学実験	3
情報リテラシー	2	有機化学実験	3
卒業研究Ⅰ	4	物理化学実験	3
卒業研究Ⅱ	4	エネルギーの化学	2
化学基礎実験	2	錯体化学	2
		固体化学	2
		柔らかい分子系の化学	2
		バイオ有機化学	2
		薬品合成化学	2
		有機分析化学	2
		有機反応化学	2
		機器分析化学	2
		化学環境論	2
		環境分析化学	2
		鑑識の化学	2
		量子化学	2
		放射線化学	2
		ポリマーの化学	2
		コンピュータ入門	2
		化学プレゼンテーション	2
		安全化学	2
		特別講義	1
		化学トピックス	2
		化学セミナーⅠ	2
		化学セミナーⅡ	2
		化学特別実験	8
		解析学Ⅰ	2
		解析学Ⅱ	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2
		化学入門Ⅰ	2
		化学入門Ⅱ	2
		教職のための化学	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2

応用物理学科 物理科学専攻

必修科目	単位数	選択科目	単位数
物理学基礎実験	2	質点の力学Ⅰ	2
電気・電子工学実験Ⅰ	2	質点の力学Ⅱ	2
特別研究Ⅰ	4	微分積分学Ⅰ	2
特別研究Ⅱ	4	微分積分学Ⅱ	2
		線形代数学	2
		応用数学	2
		基礎電磁気学Ⅰ	2
		基礎電磁気学Ⅱ	2
		コンピュータ入門Ⅰ	2
		コンピュータ入門Ⅱ	2
		医学概論・公衆衛生学	2
		解剖学	2
		医用工学概論	2
		情報処理工学	2
		機械工学	2
		電子工学Ⅰ	2
		電子工学Ⅱ	2
		電気工学概論	2
		システム工学	2
		物性工学	2
		材料工学	2
		計測工学	2
		応用電磁気学	2
		プログラミング	2
		物理数学Ⅰ	2
		物理数学Ⅱ	2
		ベクトル解析・解析力学	2
		剛体の力学	2
		量子力学の基礎	2
		量子力学Ⅰ	2
		量子力学Ⅱ	2
		光物理学	2
		熱力学	2
		熱統計物理	2
		物性物理Ⅰ	2
		物性物理Ⅱ	2
		宇宙科学Ⅰ	2
		宇宙科学Ⅱ	2
		素粒子・原子核物理	2
		応用物理学実験	2
		応用物理学演習	2
		ゼミナールⅠ	1
		ゼミナールⅡ	1
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学基礎実験	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2

	授業実践演習	2
	教職のための物理	2
	教職のための化学	2
	教職のための地学	2
	教職のための生物	2

応用物理学科 臨床工学専攻

必修科目	単位数	選択科目	単位数
物理学基礎実験	2	質点の力学Ⅰ	2
電気・電子工学実験Ⅰ	2	質点の力学Ⅱ	2
電気・電子工学実験Ⅱ	2	微分積分学Ⅰ	2
		微分積分学Ⅱ	2
		線形代数学	2
		応用数学	2
		基礎電磁気学Ⅰ	2
		基礎電磁気学Ⅱ	2
		コンピュータ入門Ⅰ	2
		コンピュータ入門Ⅱ	2
		医学概論・公衆衛生学	2
		解剖学	2
		医用工学概論	2
		基礎電磁気学Ⅲ	2
		情報処理工学	2
		機械工学	2
		電子工学Ⅰ	2
		電子工学Ⅱ	2
		電気工学概論	2
		システム工学	2
		物性工学	2
		材料工学	2
		計測工学	2
		応用電磁気学	2
		関係法規	1
		看護学入門	1
		基礎医学実習	1
		生化学	2
		生理学Ⅰ	2
		生理学Ⅱ	2
		病理学	2
		免疫学	2
		薬理学	2
		医用機器学概論	2
		医用治療機器学	4
		医用機器安全管理学Ⅰ	2
		医用機器安全管理学Ⅱ	2
		医用生体計測装置学	2
		生体機能代行装置学Ⅰ	4
		生体機能代行装置学Ⅱ	4
		生体機能代行装置学Ⅲ	2
		臨床医学総論Ⅰ	2
		臨床医学総論Ⅱ	2
		臨床医学総論Ⅲ	2
		臨床医学総論Ⅳ	2
		臨床医学特論Ⅰ	2
		臨床医学特論Ⅱ	2
		臨床医学特論Ⅲ	2
		臨床医学特論Ⅳ	2

		臨床実習Ⅰ	1
		臨床実習Ⅱ	1
		臨床実習Ⅲ	1
		臨床実習Ⅳ	1
		医用治療機器学実習	1
		医用機器安全管理学実習	1
		医用生体計測装置学実習	1
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	1
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	1
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	1
		ゼミナールⅠ	1
		ゼミナールⅡ	1
		臨床特別研究	4
		特別研究Ⅰ	4
		特別研究Ⅱ	4
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		生物学基礎論Ⅰ	2
		生物学基礎論Ⅱ	2

基礎理学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎理ゼミ	1	情報リテラシー	2
自己実現プログラムⅠ	1	情報リテラシーⅡ	2
自己実現プログラムⅡ	1	電子計算機概論	2
卒業研究Ⅰ	4	情報システム概論Ⅰ	2
卒業研究Ⅱ	4	情報システム概論Ⅱ	2
		情報化社会と倫理	2
		ネットワークとインターネット	2
		基礎解析演習	1
		微分積分学Ⅰ	2
		微分積分学Ⅱ	2
		微分積分学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅰ	2
		線形代数学Ⅱ	2
		線形代数学Ⅲ	2
		数学要論Ⅰ	2
		数学要論Ⅱ	2
		計算機数学	2
		プログラム探究	2
		基礎物理学Ⅰ	2
		基礎物理学Ⅱ	2
		物理学実験	2
		基礎化学Ⅰ	2
		基礎化学Ⅱ	2
		生命科学Ⅰ	2
		生命科学Ⅱ	2
		地球科学Ⅰ	2
		地球科学Ⅱ	2
		電気磁気学Ⅰ	2
		分析化学	2
		有機化学Ⅰ	2
		地質学	2
		化学実験	2
		生物学実験Ⅰ	1
		生物学実験Ⅱ	1
		地学実験	2

	野外実践指導実習 I	2
	教育基礎論	2
	学習・発達論	2
	線形数理	2
	情報システム I	2
	情報システム II	2
	情報と職業	2
	ネットワークとセキュリティー I	2
	ネットワークとセキュリティー II	2
	計算機とアルゴリズム I	2
	計算機とアルゴリズム II	2
	コンピューターとプレゼンテーション	2
	解析学 I	2
	解析学 II	2
	解析学統論 I	2
	数学要論 III	2
	代数学 I	2
	解析学統論 II	2
	解析学統論 III	2
	解析学統論 IV	2
	代数学 II	2
	代数学 III	2
	代数学 IV	2
	幾何学 I	2
	幾何学 II	2
	幾何学 III	2
	確率・統計 I	2
	確率・統計 II	2
	力学	2
	電気磁気学 II	2
	物理学演習	2
	光量子科学	2
	量子力学	2
	エネルギー環境科学	2
	有機化学 II	2
	物理化学	2
	生物化学	2
	動物生理学	2
	遺伝学	2
	分子生物学	2
	植物生理学	2
	宇宙科学 I	2
	宇宙科学 II	2
	鉱物科学	2
	環境地球化学	2
	生態学	2
	水環境科学	2
	環境科学	2
	環境地質学	2
	教職基礎演習	1
	野外実践指導実習 II	2
	数学教材開発指導	2
	理科教材開発指導	2
	授業実践演習	2
	教職のための数学 I	2
	教職のための数学 II	2
	教職のための数学 III	2
	教職のための物理	2

		教職のための生物	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		現代教育Ⅰ	2
		現代教育Ⅱ	2
		教職実践演習(中・高)	2
		エネルギー環境科学実験	2
		生物科学実験	2
		環境化学実験	2
		地球科学実験	2
		自然科学探求ゼミナールⅠ	1
		自然科学探求ゼミナールⅡ	1
		数学探求ゼミナールⅠ	1
		数学探求ゼミナールⅡ	1
		現代教育探求ゼミナールⅠ	1
		現代教育探求ゼミナールⅡ	1
		自然科学特論Ⅰ	1
		自然科学特論Ⅱ	1

生物化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	化学概論	2
生物化学Ⅰ	2	生物学概論	2
有機化学Ⅰ	2	生物化学トピックス	2
有機化学Ⅱ	2	バイオテクノロジー概論	2
分析化学	2	情報リテラシーⅡ	2
細胞生物学Ⅰ	2	分子遺伝学Ⅰ	2
生物化学実験Ⅰ	3	細胞生物学Ⅱ	2
生物化学実験Ⅱ	3	微生物学	2
生物化学実験Ⅲ	3	生物無機化学Ⅰ	2
生物化学実験Ⅳ	3	生物化学Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	生物化学Ⅲ	2
卒業研究Ⅱ	4	環境分析化学	2
		環境生態学	2
		有機化学Ⅲ	2
		有機化学Ⅳ	2
		生化学計算法	2
		機器分析法	2
		生物化学的分析法	2
		進化・発生生物学	2
		分子遺伝学Ⅱ	2
		遺伝子工学	2
		植物科学Ⅰ	2
		植物科学Ⅱ	2
		応用微生物学	2
		免疫学	2
		応用酵素学	2
		食品機能化学	2
		生物有機化学	2
		天然物化学	2
		環境生物化学	2
		生物的環境保全論	2
		薬品応用化学	2
		生物無機化学Ⅱ	2
		薬品合成化学	2
		数学Ⅰ	2
		数学Ⅱ	2
		生物学基礎実験	2

	化学基礎実験	2
	物理学基礎実験	2
	地学基礎実験	2
	地学基礎論Ⅰ	2
	地学基礎論Ⅱ	2
	物理学基礎論Ⅰ	2
	物理学基礎論Ⅱ	2
	教職基礎演習	1
	野外実践指導実習Ⅱ	2
	理科教材開発指導	2
	授業実践演習	2
	教職のための物理	2
	教職のための生物	2
	教職のための化学	2
	教職のための地学	2

臨床生命科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
一般化学	2	生物無機化学	2
一般生物学	2	食薬学	2
分析化学	2	生理活性物質化学	2
生物有機化学	2	基礎医科学研究論	1
生物化学Ⅰ	2	食品機能学	2
生物化学Ⅱ	2	臨床栄養学	2
情報リテラシー	2	健康管理概論	2
基礎栄養学	2	食品安全衛生学	2
食品学総論	2	フードマネージメント論	2
基礎分子生物学	2	食品バイオテクノロジー	2
基礎分子遺伝学	2	生体情報学	2
医学概論	1	病理学Ⅰ	2
動物生理学	2	病理学Ⅱ	2
微生物学	2	病原微生物学	2
解剖学	2	医動物学	2
パソコン演習	2	機器分析法	2
公衆衛生学	2	検査機器論	2
		医用工学概論	2
		臨床検査総論Ⅰ	2
		臨床検査総論Ⅱ	2
		臨床生理学Ⅰ	2
		臨床生理学Ⅱ	2
		生物化学的分析法	2
		臨床化学	2
		臨床血液学Ⅰ	2
		臨床血液学Ⅱ	2
		免疫学	2
		臨床免疫学	2
		放射線生物学	2
		医療安全管理学	2
		生物化学実験Ⅰ	3
		生物化学実験Ⅱ	3
		基礎医科学実験Ⅰ	3
		基礎医科学実験Ⅱ	3
		基礎医科学実験Ⅲ	1
		解剖学実習	1
		生理学実習	1
		病理学実習	1
		臨床生物化学実習Ⅰ	1
		臨床生物化学実習Ⅱ	1

		医動物学実習	1
		医用工学実習	1
		臨床検査総論実習Ⅰ	1
		臨床検査総論実習Ⅱ	1
		臨床生理学実習Ⅰ	1
		臨床生理学実習Ⅱ	2
		臨床化学実習Ⅰ	1
		臨床化学実習Ⅱ	1
		臨床血液学実習Ⅰ	1
		臨床血液学実習Ⅱ	1
		臨床免疫学実習Ⅰ	1
		臨床免疫学実習Ⅱ	2
		医療安全管理学実習	1
		特別研究	6
		卒業研究Ⅰ	4
		卒業研究Ⅱ	4
		数学Ⅰ	2
		数学Ⅱ	2
		物理学基礎実験	2
		化学基礎実験	2
		生物学基礎実験	2
		地学基礎論Ⅰ	2
		地学基礎論Ⅱ	2
		地学基礎実験	2
		物理学基礎論Ⅰ	2
		物理学基礎論Ⅱ	2
		教職基礎演習	1
		野外実践指導実習Ⅱ	2
		理科教材開発指導	2
		授業実践演習	2
		教職のための物理	2
		教職のための化学	2
		教職のための地学	2
		教職のための生物	2

動物学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
動物学ゼミナール	2	動物誌	2
卒業研究Ⅰ	4	微生物学	2
卒業研究Ⅱ	4	動物生理学	2
		基礎環境科学	2
		動物比較解剖学	2
		動物機能解剖学	2
		動物遺伝学	2
		生化学	2
		統計学	2
		情報リテラシー	2
		パソコン演習	2
		動物と人間	2
		進化動物学Ⅰ	1
		進化動物学Ⅱ	1
		地史・古生物学	2
		環境考古学	2
		細胞遺伝学	2
		植生学	2
		応用統計学	2
		植物系統分類学	2
		環境地球化学	2

	環境地質学	2
	環境科学	2
	動物環境学	2
	動物行動学	2
	生態学	2
	昆虫学	2
	動物系統分類学	2
	寄生動物学	2
	実験動物学	2
	動物関連法規	2
	動物生殖学	2
	動物発生学	2
	動物資源育種学	2
	動物保全学	2
	自然人類学 I	2
	自然人類学 II	2
	脊椎動物学 I	2
	脊椎動物学 II	2
	脊椎動物学 III	1
	脊椎動物学 IV	1
	動物社会学	2
	動物生態学	2
	集団遺伝学	2
	比較免疫学	2
	動物病理学	2
	動物生理・生化学実習	2
	動物遺伝学実習	2
	動物発生学実習	2
	動物実験・検査学実習	2
	野外調査実習	2
	動物保全・育種学実習	2
	動物解剖学実習	2
	教職基礎演習	1
	野外実践指導実習 II	2
	理科教材開発指導	2
	授業実践演習	2
	教職のための物理	2
	教職のための化学	2
	教職のための生物	2
	教職のための地学	2
	数学 I	2
	数学 II	2
	化学基礎論 I	2
	化学基礎論 II	2
	物理学基礎論 I	2
	物理学基礎論 II	2
	地学基礎論 I	2
	地学基礎論 II	2
	化学基礎実験	2
	物理学基礎実験	2
	地学基礎実験	2

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

理学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語ⅠA	0.5	発信英語ⅢA	0.5
総合英語ⅠB	0.5	発信英語ⅢB	0.5
総合英語ⅡA	0.5	発信英語ⅣA	0.5
総合英語ⅡB	0.5	発信英語ⅣB	0.5
総合英語ⅢA	0.5	専門英語ⅠA	0.5
総合英語ⅢB	0.5	専門英語ⅠB	0.5
総合英語ⅣA	0.5	専門英語ⅡA	0.5
総合英語ⅣB	0.5	専門英語ⅡB	0.5
発信英語ⅠA	0.5	応用英語ⅠA	0.5
発信英語ⅠB	0.5	応用英語ⅠB	0.5
発信英語ⅡA	0.5	応用英語ⅡA	0.5
発信英語ⅡB	0.5	応用英語ⅡB	0.5
		実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
		実用英語 (アカデミックライティング)	1
		実用英語(プレゼンテーション)	1
		ドイツ語ⅠA	0.5
		ドイツ語ⅠB	0.5
		ドイツ語ⅡA	0.5
		ドイツ語ⅡB	0.5
		フランス語ⅠA	0.5
		フランス語ⅠB	0.5
		フランス語ⅡA	0.5
		フランス語ⅡB	0.5
		中国語ⅠA	0.5
		中国語ⅠB	0.5
		中国語ⅡA	0.5
		中国語ⅡB	0.5
		ハングルⅠA	0.5
		ハングルⅠB	0.5
		ハングルⅡA	0.5
		ハングルⅡB	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語会話	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		基礎日本語	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

理学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		哲学A	1
		哲学B	1
		論理学A	1
		論理学B	1
		倫理と宗教A	1
		倫理と宗教B	1
		文学A	1
		文学B	1

	日本史A	1
	日本史B	1
	外国史A	1
	外国史B	1
	マスメディア論A	1
	マスメディア論B	1
	政治学A	1
	政治学B	1
	国際関係論A	1
	国際関係論B	1
	国際バカロレア概論	2
	海外文化研修	2
	経済学A	1
	経済学B	1
	環境と社会A	1
	環境と社会B	1
	日本国憲法	2
	法学A	1
	法学B	1
	考古学A	1
	考古学B	1
	比較文化論A	1
	比較文化論B	1
	社会と人間A	1
	社会と人間B	1
	福祉環境論A	1
	福祉環境論B	1
	岡山学A	1
	岡山学B	1
	芸術A	1
	芸術B	1
	健康の科学	2
	生涯スポーツ	1
	スポーツとフィールド科学 (エコツアー リズムのための野外スポーツ)	2
	スポーツとフィールド科学 (ヨット)	1
	スポーツとフィールド科学 (ゴルフ)	1
	スポーツとフィールド科学 (テニス)	1
	スポーツとフィールド科学 (ボウリング)	1
	スポーツとフィールド科学 (スキー)	1
	ボランティア論A	1
	ボランティア論B	1
	ボランティア活動A	1
	ボランティア活動B	1
	日本の文化と歴史 I A	1
	日本の文化と歴史 I B	1
	日本の文化と歴史 II A	1
	日本の文化と歴史 II B	1
	文章表現法基礎編A	1
	文章表現法基礎編B	1
	プレゼンテーション基礎編A	1
	プレゼンテーション基礎編B	1
	教養演習A	1
	教養演習B	1
	企業と人間A	1
	企業と人間B	1
	キャリア形成講座A	1
	キャリア形成講座B	1
	学びの基礎論A	1
	学びの基礎論B	1

	地域フィールドスタディA	1
	地域フィールドスタディB	1
	企業情報特論A	1
	企業情報特論B	1
	インターンシップ概論	1
	インターンシップA	1
	インターンシップB	2
	インターンシップC	3
	社会・産業実習	3
	産業課題研究演習	2
	文章表現法応用編A	1
	文章表現法応用編B	1
	プレゼンテーション応用編A	1
	プレゼンテーション応用編B	1
	教職のための文章表現法	2
	教職のためのプレゼンテーション	2
	技術者の社会人基礎A	1
	技術者の社会人基礎B	1
	経営工学A	1
	経営工学B	1
	技術マネジメントA	1
	技術マネジメントB	1
	身近な物理学Ⅰ	1
	身近な物理学Ⅱ	1
	身近な化学Ⅰ	1
	身近な化学Ⅱ	1
	身近な生物学Ⅰ	1
	身近な生物学Ⅱ	1
	身近な地学Ⅰ	1
	身近な地学Ⅱ	1
	科学技術倫理A	1
	科学技術倫理B	1
	現代人の科学A	1
	現代人の科学B	1
	現代人の科学C	1
	現代人の科学D	1
	現代人の科学E	1
	現代人の科学F	1
	科学技術と人間A	1
	科学技術と人間B	1
	地球型惑星の歴史と物質科学	2
	科学・工作ボランティア入門	2
	科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
	科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
	科学ボランティア活動	1
	ワインの歴史と風土・文化	1
	ワインの科学	1
	生命の化学概論	1

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	D P 数学	2
I B 教育方法論	2	D P 化学	2
I B 教育評価論	2	D P 教育実践研究Ⅰ	2
		D P 教育実践研究Ⅱ	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習Ⅰ	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習Ⅱ	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習Ⅲ	1
ワイン醸造法	1		

5. 教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
教育課程論	2	
数学教育法Ⅰ	2	
数学教育法Ⅱ	2	
数学教育法Ⅲ	2	
数学教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	該当免許教科の教育法を履修
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法	2	高等学校教諭一種免許状は「教科又は教職に関する科目」
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	2	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	

教科又は教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
介護等体験の基礎と方法	2	

6. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

応用数学科、化学科、応用物理学科、生物化学科、臨床生命科学科、動物学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習	3

基礎理学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	1	博物館情報論	2
博物館実習	3		

応用数学科、化学科、応用物理学科、基礎理学科、生物化学科、臨床生命科学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
自然史A	2	自然史B	2
文化史A	2	文化史B	2

別表Ⅱ 工学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別
 ただし、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得のために必要な教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目については、全学共通とする。

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

バイオ・応用化学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
基礎化学Ⅰ	2	基礎有機化学	2
基礎化学Ⅱ	2	解析学Ⅰ	2
基礎化学演習Ⅰ	1	解析学Ⅱ	2
基礎化学演習Ⅱ	1	統計学	2
基礎化学演習Ⅲ	2	パソコン演習	2
情報リテラシー	2	数値実験とプレゼンテーション技法	2
バイオ・応用化学における安全と倫理	1	物理学Ⅰ	2
フレッシュマンゼミⅠ	0.5	物理学Ⅱ	2
フレッシュマンゼミⅡ	0.5	地学基礎論Ⅰ	2
基礎化学実験	2	地学基礎論Ⅱ	2
バイオ・応用化学実験Ⅰ	3	基礎物理学実験	2
バイオ・応用化学実験Ⅱ	3	基礎生物学実験	2
バイオ・応用化学実験Ⅲ	3	地学基礎実験	2
バイオ・応用化学実験Ⅳ	3	生物学Ⅰ	2
卒業研究Ⅰ	4	生物学Ⅱ	2
卒業研究Ⅱ	4	分析化学Ⅰ	2
		分析化学Ⅱ	2
		物理化学Ⅰ	2
		物理化学Ⅱ	2
		化学工学Ⅰ	2
		化学工学Ⅱ	2
		有機化学Ⅰ	2
		有機化学Ⅱ	2
		無機化学Ⅰ	2
		無機化学Ⅱ	2
		生化学Ⅰ	2
		生化学Ⅱ	2
		工業分析化学	2
		水圏生物学	2
		応用酵素学	2
		高分子化学	2
		バイオ・応用化学ゼミナール	2
		センサー工学	2
		ナノサイエンス	2
		反応工学	2
		創薬化学	2
		セラミックス概論	2
		コロイド界面化学	2
		分子生物学	2
		遺伝子工学	2
		細胞バイオテクノロジー	2
		発酵生産と機能性食品	2
		水生動物学	2
		魚類繁殖学	2
		魚類疾病学	2
		魚類飼育論	2
		水槽設計論	2
		水圏生物学実習	1
		化粧品概論	1
		化粧品学	2
		細胞生理学	2
		化粧品の皮膚科学と安全学	2

		コスメティックサイエンス概論	1
		工業デザイン	2
		上級数学Ⅰ	2
		上級数学Ⅱ	2
		職業指導	4

機械システム工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
微分と積分	2	数学基礎	2
線形代数	2	フーリエ解析	2
確率と統計	2	力学基礎	2
微分方程式	2	機械工学セミナー	2
物理学Ⅰ	2	数値計算	2
物理学Ⅱ	2	機械材料	2
物理学実験	2	熱と流れ	2
力学Ⅰ	2	機械設計学	2
力学Ⅱ	2	精密加工学	2
情報リテラシー	2	機械のデザイン	2
コンピュータ基礎	2	CAEⅠ	2
機械製図Ⅰ	2	創造PBLⅠ	2
機械製図Ⅱ	2	弾塑性力学の基礎	2
加工学実習	2	エネルギー工学	2
機械工学実験Ⅰ	2	メカトロニクス	2
機械工学実験Ⅱ	2	CAD/CAM	2
材料力学Ⅰ	2	CAEⅡ	2
材料力学Ⅱ	2	創造PBLⅡ	2
マテリアルサイエンスⅠ	2	構造強度	2
マテリアルサイエンスⅡ	2	推進エンジン	2
熱力学Ⅰ	2	高速空気力学	2
熱力学Ⅱ	2	航行運動学	2
流体力学Ⅰ	2	ロボット工学	2
流体力学Ⅱ	2	職業指導	4
機械力学Ⅰ	2	木材加工	2
機械力学Ⅱ	2	木材加工実習	2
計測工学	2	栽培	2
自動制御Ⅰ	2		
自動制御Ⅱ	2		
機械要素Ⅰ	2		
機械要素Ⅱ	2		
加工学Ⅰ	2		
加工学Ⅱ	2		
卒業研究Ⅰ	4		
卒業研究Ⅱ	4		

電気電子システム学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
数学Ⅰ	2	電気電子工学実験Ⅲ	1
数学Ⅱ	2	アナログ回路	2
数学Ⅲ	2	電気電子回路設計	2
応用数学Ⅰ	2	通信工学	2
応用数学Ⅱ	2	システム制御の基礎	2
物理学Ⅰ	2	電気電子計測	2
物理学Ⅱ	2	電子物性の基礎	2
物理学Ⅲ	2	プログラミング基礎	2
電磁気学Ⅰ	2	電気エネルギー発生工学	2
電磁気学Ⅱ	2	電気エネルギー変換機器	2
電磁気学Ⅲ	2	電気エネルギー伝送工学	2
FEELプログラム	2	パワーエレクトロニクス	2

電気電子工学基礎実験	2	制御工学	2
電気電子工学実験Ⅰ	2	システム工学	2
電気電子工学実験Ⅱ	2	ロボット工学	2
情報リテラシー	2	電子物性工学	2
コンピュータ実習	2	半導体工学	2
電気回路Ⅰ	2	光・電気電子材料	2
電気回路Ⅱ	2	電子デバイス工学	2
電気回路Ⅲ	2	センサ工学	2
コンピュータ工学Ⅰ	2	光・電磁波工学	2
卒業研究Ⅰ	4	マイクロ波工学	2
卒業研究Ⅱ	4	コンピュータ工学Ⅱ	2
		数値計算	2
		光情報工学	2
		画像工学	2
		コンピュータネットワーク	2
		デジタル回路Ⅰ	2
		デジタル回路Ⅱ	2
		情報と職業	2
		情報化社会と倫理	2
		工業デザイン	2
		電波法規	1
		機械工学概論	2
		電気法規施設管理	2
		化学基礎論Ⅰ	2
		化学基礎論Ⅱ	2
		化学実験	2
		上級数学Ⅰ	2
		上級数学Ⅱ	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

情報工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報工学フロンティアⅠ	1	応用数学Ⅰ	2
情報工学フロンティアⅡ	1	応用数学Ⅱ	2
情報工学入門	2	物理学Ⅰ	2
情報リテラシー	2	物理学Ⅱ	2
コンピュータ演習	2	電気回路	2
数学Ⅰ	2	情報と職業	2
数学Ⅱ	2	情報理論	2
数学Ⅲ	2	ソフトウェア工学	2
数学Ⅳ	2	情報処理実験	2
情報数学Ⅰ	2	エンジニアリングデザイン実習	2
情報数学Ⅱ	2	情報処理演習	2
論理回路Ⅰ	2	論理回路Ⅱ	2
コンピュータ工学Ⅰ	2	コンピュータ工学Ⅱ	2
データ構造とアルゴリズム	2	オートマトンと言語理論	2
プログラミングⅠ	2	プログラミング言語論	2
プログラミングⅡ	2	集積回路	2
情報化と社会	2	組込みシステム	2
オペレーティングシステム	2	並列処理	2
情報工学実験	2	コンパイラ	2
卒業研究Ⅰ	4	数値計算	2
卒業研究Ⅱ	4	画像処理とCG	2
		ヒューマンコンピュータインタラクション	2
		アドバンストプログラミング	2

		デジタル信号処理	2
		データベース	2
		センサ工学	2
		システム工学	2
		人工知能	2
		マルチメディア工学	2
		情報通信基礎論	2
		コンピュータネットワーク実習	1
		情報ネットワーク基礎論	2
		コンピュータネットワーク	2
		暗号とセキュリティ	2
		工業デザイン	2
		上級数学Ⅰ	2
		上級数学Ⅱ	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

知能機械工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
応用数学Ⅰ	2	解析学Ⅰ	2
力学Ⅰ	2	解析学Ⅱ	2
力学Ⅱ	2	線形代数	2
物理学実験	2	応用数学Ⅱ	2
情報リテラシー	2	物理学Ⅰ	2
プログラミング演習	2	物理学Ⅱ	2
機械製図ⅠA	1	電磁気学	2
機械製図ⅠB	1	コンピュータリテラシー	2
人間工学	2	ロボットものづくり体験演習	2
ユニバーサルデザイン	2	ロボット知能化演習	2
材料力学Ⅰ	2	機械創造工学Ⅰ	2
流体力学Ⅰ	2	機械創造工学Ⅱ	2
知能情報処理	2	ロボットシステムセミナー	1
アナログ電子回路	2	アミューズメント工学セミナー	1
ロボット運動学	2	機械製図ⅡA	1
ロボットダイナミクス	2	機械製図ⅡB	1
制御工学Ⅰ	2	加工学	2
知能機械工学実験Ⅰ	1	機械加工実習	2
知能機械工学実験Ⅱ	1	生活支援工学	2
知能機械工学実験Ⅲ	1	材料力学Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	流体力学Ⅱ	2
卒業研究Ⅱ	4	熱力学	2
		機械力学	2
		数値計算法	2
		デジタル電子回路	2
		センサ工学	2
		制御工学Ⅱ	2
		材料工学	2
		データ解析	2
		アドバンストセミナー	2
		ロボットビジョン	2
		ロボットシステム工学	2
		ロボット制御工学	2
		知的制御システム論	2
		アクチュエータ機構学	2
		アミューズメント工学	2
		ヒューマンインターフェース	2

		アミューズメントコントローラ	2
		バーチャルリアリティ	2
		アミューズメントプログラミング	2
		工業デザイン	2
		化学実験	2
		上級数学Ⅰ	2
		上級数学Ⅱ	2
		職業指導	4
		木材加工	2
		木材加工実習	2
		栽培	2

生命医療工学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報処理工学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2
物理学実験	2	応用数学Ⅱ	2
生命工学実験Ⅰ	2	基礎物理学	2
生命工学実験Ⅱ	2	基礎化学	2
ゼミナール	2	情報処理工学Ⅱ	2
		化学実験	2
		生物学実験	2
		生理学	2
		解剖学	2
		生化学	2
		免疫学	2
		公衆衛生学	2
		薬理学	2
		病理学概論	2
		医学概論	1
		関係法規	1
		臨床医学総論Ⅰ	2
		臨床医学総論Ⅱ	2
		臨床医学総論Ⅲ	2
		臨床医学総論Ⅳ	2
		看護学概論	2
		電気工学Ⅰ	2
		電気工学Ⅱ	2
		電気工学演習	1
		電子工学	2
		電子工学演習	1
		計測工学	2
		生体計測装置学Ⅰ	1
		生体計測装置学Ⅱ	1
		診断機器概論	2
		情報処理演習Ⅰ	1
		情報処理演習Ⅱ	1
		材料工学	2
		物性工学	2
		機械工学	2
		治療機器学	2
		人工臓器Ⅰ	2
		人工臓器Ⅱ	2
		人工臓器Ⅲ	2
		応用力学	2
		バイオメカニクス	2
		システム工学	2
		生活環境学	2

	医用安全工学Ⅰ	2
	医用安全工学Ⅱ	2
	分子生物学	2
	細胞生物学	2
	応用生命工学	2
	再生医療工学	2
	再生医療工学実験	2
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	1
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	1
	生体機能代行装置学実習Ⅲ	1
	医用治療機器学実習	1
	医用生体計測装置学実習	1
	医用機器安全管理学実習	1
	基礎医学実習	1
	臨床工学特別講義Ⅰ	2
	臨床工学特別講義Ⅱ	2
	臨床実習Ⅰ	2
	臨床実習Ⅱ	2
	特別研究	2
	工業デザイン	2
	生命医療工学概論	2
	卒業研究Ⅰ	4
	卒業研究Ⅱ	4
	上級数学Ⅰ	2
	上級数学Ⅱ	2
	職業指導	4
	木材加工	2
	木材加工実習	2
	栽培	2

建築学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	代数学Ⅰ	2
建築概論	2	代数学Ⅱ	2
建築材料	2	解析学Ⅰ	2
設計演習Ⅰ	3	解析学Ⅱ	2
住宅計画	2	物理学Ⅰ	2
建築計画	2	物理学Ⅱ	2
設計演習Ⅱ	3	統計学	2
設計演習Ⅲ	3	測量学	2
日本建築史	2	建築法規	2
構造力学Ⅰ	2	建築生産	2
構造力学Ⅱ	2	学外研修	2
建築環境工学Ⅰ	2	技術者倫理	2
建築設備Ⅰ	2	エコロジカルデザイン	2
特別研究Ⅰ	4	CAD/CG演習Ⅰ	2
特別研究Ⅱ	4	ハウジング	2
		CAD/CG演習Ⅱ	2
		設計演習Ⅳ-1	1.5
		設計演習Ⅳ-2	1.5
		住宅デザイン論	2
		近代建築史	2
		都市計画	2
		住環境ユニバーサルデザイン	2
		インテリアデザイン・色彩学	2
		設計演習Ⅴ-1	1.5
		設計演習Ⅴ-2	1.5
		西洋建築史	2
		建築デザイン論	2

	環境デザイン	2
	設計演習Ⅵ	2
	設計方法論	2
	建築経済・経営	2
	構造力学演習	2
	構造力学Ⅲ	2
	構造力学Ⅳ	2
	鋼構造	2
	鉄筋コンクリート構造	2
	木質構造	2
	構造材料実験	1
	構造部材実験	1
	耐震・耐風設計	2
	建築基礎構造	2
	構造計画	2
	建築環境工学Ⅱ	2
	建築設備Ⅱ	2
	環境工学演習	1
	設備工学演習	1
	建築環境設計演習	2
	建築設備設計演習	2
	上級数学Ⅰ	2
	上級数学Ⅱ	2
	職業指導	4
	木材加工	2
	木材加工実習	2
	栽培	2

工学プロジェクトコース

工学プロジェクトコースの授業科目は、工学部全学科の専門教育科目を選択科目として加える。

必修科目	単位数	選択科目	単位数
チュートリアルⅠ	1	数学Ⅰ	2
チュートリアルⅡ	1	数学Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	数学Ⅲ	2
卒業研究Ⅱ	4	数学Ⅳ	2
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		物理学実験	2
		基礎化学Ⅰ	2
		基礎化学Ⅱ	2
		基礎化学実験	2
		情報リテラシー	2
		コンピュータ演習	2
		プロジェクトセミナー	2
		プロジェクトマネジメントⅠ	2
		プロジェクトマネジメントⅡ	2
		チュートリアルⅢ	1
		プロジェクトデザイン	2
		プロジェクトⅠ	2
		プロジェクトⅡ	2
		プロジェクトⅢ	2
		プロジェクトⅣ	2
		工業デザイン	2
		化学実験	2
		上級数学Ⅰ	2
		上級数学Ⅱ	2

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

工学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語ⅠA	0.5	発信英語ⅢA	0.5
総合英語ⅠB	0.5	発信英語ⅢB	0.5
総合英語ⅡA	0.5	発信英語ⅣA	0.5
総合英語ⅡB	0.5	発信英語ⅣB	0.5
総合英語ⅢA	0.5	専門英語ⅠA	0.5
総合英語ⅢB	0.5	専門英語ⅠB	0.5
総合英語ⅣA	0.5	専門英語ⅡA	0.5
総合英語ⅣB	0.5	専門英語ⅡB	0.5
発信英語ⅠA	0.5	応用英語ⅠA	0.5
発信英語ⅠB	0.5	応用英語ⅠB	0.5
発信英語ⅡA	0.5	応用英語ⅡA	0.5
発信英語ⅡB	0.5	応用英語ⅡB	0.5
		実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
		実用英語 (アカデミックライティング)	1
		実用英語(プレゼンテーション)	1
		ドイツ語ⅠA	0.5
		ドイツ語ⅠB	0.5
		ドイツ語ⅡA	0.5
		ドイツ語ⅡB	0.5
		フランス語ⅠA	0.5
		フランス語ⅠB	0.5
		フランス語ⅡA	0.5
		フランス語ⅡB	0.5
		中国語ⅠA	0.5
		中国語ⅠB	0.5
		中国語ⅡA	0.5
		中国語ⅡB	0.5
		ハングルⅠA	0.5
		ハングルⅠB	0.5
		ハングルⅡA	0.5
		ハングルⅡB	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語会話	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		基礎日本語	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

工学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		哲学A	1
		哲学B	1
		論理学A	1
		論理学B	1
		倫理と宗教A	1
		倫理と宗教B	1
		文学A	1
		文学B	1
		日本史A	1

	日本史B	1
	外国史A	1
	外国史B	1
	マスメディア論A	1
	マスメディア論B	1
	政治学A	1
	政治学B	1
	国際関係論A	1
	国際関係論B	1
	国際バカロレア概論	2
	海外文化研修	2
	経済学A	1
	経済学B	1
	環境と社会A	1
	環境と社会B	1
	日本国憲法	2
	法学A	1
	法学B	1
	考古学A	1
	考古学B	1
	比較文化論A	1
	比較文化論B	1
	社会と人間A	1
	社会と人間B	1
	福祉環境論A	1
	福祉環境論B	1
	岡山学A	1
	岡山学B	1
	芸術A	1
	芸術B	1
	健康の科学	2
	生涯スポーツ	1
	スポーツとフィールド科学 (エコツーリズムのための野外スポー	2
	スポーツとフィールド科学 (ヨット)	1
	スポーツとフィールド科学 (ゴルフ)	1
	スポーツとフィールド科学 (テニス)	1
	スポーツとフィールド科学 (ボウリング)	1
	スポーツとフィールド科学 (スキー)	1
	ボランティア論A	1
	ボランティア論B	1
	ボランティア活動A	1
	ボランティア活動B	1
	日本の文化と歴史 I A	1
	日本の文化と歴史 I B	1
	日本の文化と歴史 II A	1
	日本の文化と歴史 II B	1
	文章表現法基礎編A	1
	文章表現法基礎編B	1
	プレゼンテーション基礎編A	1
	プレゼンテーション基礎編B	1
	教養演習A	1
	教養演習B	1
	企業と人間A	1
	企業と人間B	1
	キャリア形成講座A	1
	キャリア形成講座B	1
	学びの基礎論A	1
	学びの基礎論B	1

	地域フィールドスタディA	1
	地域フィールドスタディB	1
	企業情報特論A	1
	企業情報特論B	1
	インターンシップ概論	1
	インターンシップA	1
	インターンシップB	2
	インターンシップC	3
	社会・産業実習	3
	産業課題研究演習	2
	文章表現法応用編A	1
	文章表現法応用編B	1
	プレゼンテーション応用編A	1
	プレゼンテーション応用編B	1
	教職のための文章表現法	2
	教職のためのプレゼンテーション	2
	技術者の社会人基礎A	1
	技術者の社会人基礎B	1
	経営工学A	1
	経営工学B	1
	技術マネジメントA	1
	技術マネジメントB	1
	身近な物理学Ⅰ	1
	身近な物理学Ⅱ	1
	身近な化学Ⅰ	1
	身近な化学Ⅱ	1
	身近な生物学Ⅰ	1
	身近な生物学Ⅱ	1
	身近な地学Ⅰ	1
	身近な地学Ⅱ	1
	科学技術倫理A	1
	科学技術倫理B	1
	現代人の科学A	1
	現代人の科学B	1
	現代人の科学C	1
	現代人の科学D	1
	現代人の科学E	1
	現代人の科学F	1
	科学技術と人間A	1
	科学技術と人間B	1
	地球型惑星の歴史と物質科学	2
	科学・工作ボランティア入門	2
	科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
	科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
	科学ボランティア活動	1
	ワインの歴史と風土・文化	1
	ワインの科学	1
	生命の化学概論	1

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	D P 化学	2
I B 教育方法論	2	D P 教育実践研究Ⅰ	2
I B 教育評価論	2	D P 教育実践研究Ⅱ	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習Ⅰ	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習Ⅱ	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習Ⅲ	1
ワイン醸造法	1		

5. 教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
教育課程論	2	
数学教育法Ⅰ	2	該当免許教科の教育法を履修
数学教育法Ⅱ	2	
数学教育法Ⅲ	2	
数学教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道徳教育の理論と方法	2	
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	2	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	

教科又は教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
介護等体験の基礎と方法	2	

6. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

工学部共通

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習	3
自然史A	2	自然史B	2
文化史A	2	文化史B	2

別表Ⅲ 総合情報学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別
 ただし、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得のために必要な教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目については、全学共通とする。

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

情報科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報科学概論	1	インターネット入門	1
情報と職業	2	アルゴリズム入門	1
情報リテラシー	2	情報関連法学	2
電子計算機概論	2	情報社会論	2
情報処理入門	2	情報システム概論	2
プログラミング基礎	2	応用プログラミングⅠ	2
基礎数学Ⅰ	2	応用プログラミングⅡ	2
基礎数学Ⅱ	2	データベース	2
卒業研究Ⅰ	4	データ構造Ⅰ	1
卒業研究Ⅱ	4	アルゴリズムⅠ	1
		データ構造Ⅱ	1
		アルゴリズムⅡ	1
		WebプログラミングⅠ	2
		WebプログラミングⅡ	2
		データサイエンス	2
		モバイルプログラミング	2
		基本情報処理	2
		データ解析プログラミング	2
		コンピュータグラフィックス	2
		情報セキュリティⅠ	1
		情報セキュリティⅡ	1
		離散数学Ⅰ	2
		離散数学Ⅱ	2
		オペレーティングシステム	2
		プログラミング言語	2
		AⅠ	2
		基礎解析Ⅰ	2
		基礎解析Ⅱ	2
		線形代数Ⅰ	2
		線形代数Ⅱ	2
		解析Ⅰ	2
		解析Ⅱ	2
		解析演習Ⅰ	1
		解析演習Ⅱ	1
		代数Ⅰ	2
		代数Ⅱ	2
		代数演習Ⅰ	1
		代数演習Ⅱ	1
		統計	2
		確率	2
		微分幾何	2
		位相幾何	2
		ゲーム概論	2
		ゲーム設計の技術	2
		音のデジタル表現	2
		デジタル映像表現	2
		インタラクティブユーザインタフェース	2
		ゲーミフィケーション	2
		コンピュータグラフィックス演習	2
		デジタルメディアⅠ	2
		デジタルメディアⅡ	2
		Web技術	2

	コンピュータネットワーク	2
	ネットワーク技術論	2
	Webデザイン	2
	Web・モバイルⅠ	2
	Web・モバイルⅡ	2
	ビッグデータⅠ	2
	ビッグデータⅡ	2
	数理統計	2
	数値解析	2
	応用数学	2
	情報数学Ⅰ	2
	情報数学Ⅱ	2
	機械学習	2
	応用データベース	2
	データマイニング	1
	自然言語処理	1
	データの可視化	2
	特別講義Ⅰ	1
	特別講義Ⅱ	1

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

情報科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語ⅠA	0.5	発信英語ⅢA	0.5
総合英語ⅠB	0.5	発信英語ⅢB	0.5
総合英語ⅡA	0.5	発信英語ⅣA	0.5
総合英語ⅡB	0.5	発信英語ⅣB	0.5
総合英語ⅢA	0.5	専門英語ⅠA	0.5
総合英語ⅢB	0.5	専門英語ⅠB	0.5
総合英語ⅣA	0.5	専門英語ⅡA	0.5
総合英語ⅣB	0.5	専門英語ⅡB	0.5
発信英語ⅠA	0.5	応用英語ⅠA	0.5
発信英語ⅠB	0.5	応用英語ⅠB	0.5
発信英語ⅡA	0.5	応用英語ⅡA	0.5
発信英語ⅡB	0.5	応用英語ⅡB	0.5
		実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
		実用英語 (アカデミックライティング)	1
		実用英語(プレゼンテーション)	1
		ドイツ語ⅠA	0.5
		ドイツ語ⅠB	0.5
		ドイツ語ⅡA	0.5
		ドイツ語ⅡB	0.5
		フランス語ⅠA	0.5
		フランス語ⅠB	0.5
		フランス語ⅡA	0.5
		フランス語ⅡB	0.5
		中国語ⅠA	0.5
		中国語ⅠB	0.5
		中国語ⅡA	0.5
		中国語ⅡB	0.5
		ハングルⅠA	0.5
		ハングルⅠB	0.5
		ハングルⅡA	0.5
		ハングルⅡB	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2

	海外語学研修D	3
	日本語	4
	日本語会話	4
	日本語理解	2
	日本語表現	2
	基礎日本語	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

情報科学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		哲学A	1
		哲学B	1
		論理学A	1
		論理学B	1
		倫理と宗教A	1
		倫理と宗教B	1
		文学A	1
		文学B	1
		日本史A	1
		日本史B	1
		外国史A	1
		外国史B	1
		マスメディア論A	1
		マスメディア論B	1
		政治学A	1
		政治学B	1
		国際関係論A	1
		国際関係論B	1
		国際バカロレア概論	2
		海外文化研修	2
		経済学A	1
		経済学B	1
		環境と社会A	1
		環境と社会B	1
		日本国憲法	2
		法学A	1
		法学B	1
		考古学A	1
		考古学B	1
		比較文化論A	1
		比較文化論B	1
		社会と人間A	1
		社会と人間B	1
		福祉環境論A	1
		福祉環境論B	1
		岡山学A	1
		岡山学B	1
		芸術A	1
		芸術B	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		スポーツとフィールド科学 (エコツーリズムのための野外スポー	2
		スポーツとフィールド科学 (ヨット)	1
		スポーツとフィールド科学 (ゴルフ)	1
		スポーツとフィールド科学 (テニス)	1

	スポーツとフィールド科学 (ボウリング)	1
	スポーツとフィールド科学 (スキー)	1
	ボランティア論A	1
	ボランティア論B	1
	ボランティア活動A	1
	ボランティア活動B	1
	日本の文化と歴史 I A	1
	日本の文化と歴史 I B	1
	日本の文化と歴史 II A	1
	日本の文化と歴史 II B	1
	文章表現法基礎編A	1
	文章表現法基礎編B	1
	プレゼンテーション基礎編A	1
	プレゼンテーション基礎編B	1
	教養演習A	1
	教養演習B	1
	企業と人間A	1
	企業と人間B	1
	キャリア形成講座A	1
	キャリア形成講座B	1
	学びの基礎論A	1
	学びの基礎論B	1
	地域フィールドスタディA	1
	地域フィールドスタディB	1
	企業情報特論A	1
	企業情報特論B	1
	インターンシップ概論	1
	インターンシップA	1
	インターンシップB	2
	インターンシップC	3
	社会・産業実習	3
	産業課題研究演習	2
	文章表現法応用編A	1
	文章表現法応用編B	1
	プレゼンテーション応用編A	1
	プレゼンテーション応用編B	1
	教職のための文章表現法	2
	教職のためのプレゼンテーション	2
	技術者の社会人基礎A	1
	技術者の社会人基礎B	1
	経営工学A	1
	経営工学B	1
	技術マネジメントA	1
	技術マネジメントB	1
	身近な物理学 I	1
	身近な物理学 II	1
	身近な化学 I	1
	身近な化学 II	1
	身近な生物学 I	1
	身近な生物学 II	1
	身近な地学 I	1
	身近な地学 II	1
	科学技術倫理A	1
	科学技術倫理B	1
	現代人の科学A	1
	現代人の科学B	1
	現代人の科学C	1
	現代人の科学D	1

	現代人の科学E	1
	現代人の科学F	1
	科学技術と人間A	1
	科学技術と人間B	1
	地球型惑星の歴史と物質科学	2
	科学・工作ボランティア入門	2
	科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
	科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
	科学ボランティア活動	1
	ワインの歴史と風土・文化	1
	ワインの科学	1
	生命の化学概論	1

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	D P 数学	2
I B 教育方法論	2	D P 教育実践研究Ⅰ	2
I B 教育評価論	2	D P 教育実践研究Ⅱ	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習Ⅰ	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習Ⅱ	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習Ⅲ	1
ワイン醸造法	1		

5. 教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
教育課程論	2	
数学教育法Ⅰ	2	該当免許教科の教育法を履修
数学教育法Ⅱ	2	
数学教育法Ⅲ	2	
数学教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	

道徳教育の理論と方法	2	高等学校教諭一種免許状は「教科又は教職に関する科目」
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	2	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	

教科又は教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
介護等体験の基礎と方法	2	

6. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

情報科学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習	3
自然史A	2	自然史B	2
文化史A	2	文化史B	2

別表Ⅳ 生物地球学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別
 ただし、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得のために必要な教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目については、全学共通とする。

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

生物地球学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
生物地球概論Ⅰ	1	野外調査法実習Ⅱ	2
生物地球概論Ⅱ	1	生物科学概論Ⅰ	2
生物地球概論Ⅲ	1	生物科学概論Ⅱ	2
生物地球概論Ⅳ	1	園芸学概論	2
野外調査法実習Ⅰ	2	考古学概論Ⅰ	2
インターネット	2	考古学概論Ⅱ	2
卒業研究Ⅰ	4	人類学概論	2
卒業研究Ⅱ	4	地理学概論	2
		地球科学概論Ⅰ	2
		地球科学概論Ⅱ	2
		天文学概論Ⅰ	2
		天文学概論Ⅱ	2
		古生物学概論	2
		生物学実習	2
		地理考古学基礎実習	2
		天文地学実習	2
		エコ・ツーリズム技法	2
		情報リテラシー	2
		コンピュータプログラミング	2
		統計学	2
		応用統計学	2
		生物地球のための基礎数学	2
		天文・地球気象学のための数学Ⅰ	2
		天文・地球気象学のための数学Ⅱ	2
		細胞遺伝学	2
		植物系統分類学	2
		植物生理学	2
		植物生態学	2
		植物形態学	2
		系統地理学	2
		植生学	2
		資源植物学	2
		植物系統進化学	2
		植物園芸学実習	4
		自然史研究法	2
		動物行動学	2
		環境生理学	2
		昆虫科学	2
		動物生態学	2
		昆虫生理・生態学	2
		進化生態学	2
		水圏生態学	2
		環境動物学	2
		動物学実習	4
		環境考古学	2
		考古科学	2
		日本地誌	2
		自然地理学	2
		自然人類学	2
		日本考古学	2
		先史考古学	2
		東アジア考古学	2

	欧米考古学	2
	技術考古学	2
	地域統計学	2
	歴史学	2
	考古地理学	2
	人文地理学	2
	世界地誌	2
	地理考古学実習	4
	防災気象学	2
	環境気象学	2
	地質学	2
	鉱物学	2
	天気図解析	1
	地質図学	2
	地球化学	2
	水文気象観測学	2
	土砂災害防止法	2
	応用地質学	2
	地球システム科学	2
	大気物理学	2
	地学実習	4
	天文学史	2
	天体力学	2
	天体物理学 I	2
	天体物理学 II	2
	天文データ解析	2
	天文観測実習	4
	恐竜学 I	2
	恐竜学 II	2
	古環境学	2
	古生態学	2
	古哺乳類学	2
	動物系統学	2
	堆積学	2
	古生物学実習	4
	野外博物館実習 A (植物)	4
	野外博物館実習 B (動物)	4
	野外博物館実習 C (地理考古)	4
	野外博物館実習 D (地球古生物)	4
	野外博物館実習 E (天文)	4
	生物地球特別講義 I	1
	生物地球特別講義 II	1
	生物地球特別講義 III	1
	物理学基礎論 I	2
	物理学基礎論 II	2
	物理学基礎実験	2
	化学基礎論 I	2
	化学基礎論 II	2
	化学基礎実験	2

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

生物地球学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語 I A	0.5	発信英語Ⅲ A	0.5
総合英語 I B	0.5	発信英語Ⅲ B	0.5
総合英語 II A	0.5	発信英語Ⅳ A	0.5
総合英語 II B	0.5	発信英語Ⅳ B	0.5
総合英語Ⅲ A	0.5	専門英語 I A	0.5
総合英語Ⅲ B	0.5	専門英語 I B	0.5
総合英語Ⅳ A	0.5	専門英語 II A	0.5
総合英語Ⅳ B	0.5	専門英語 II B	0.5
発信英語 I A	0.5	応用英語 I A	0.5
発信英語 I B	0.5	応用英語 I B	0.5
発信英語 II A	0.5	応用英語 II A	0.5
発信英語 II B	0.5	応用英語 II B	0.5
		実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
		実用英語 (アカデミックライティング)	1
		実用英語(プレゼンテーション)	1
		ドイツ語 I A	0.5
		ドイツ語 I B	0.5
		ドイツ語 II A	0.5
		ドイツ語 II B	0.5
		フランス語 I A	0.5
		フランス語 I B	0.5
		フランス語 II A	0.5
		フランス語 II B	0.5
		中国語 I A	0.5
		中国語 I B	0.5
		中国語 II A	0.5
		中国語 II B	0.5
		ハングル I A	0.5
		ハングル I B	0.5
		ハングル II A	0.5
		ハングル II B	0.5
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語会話	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		基礎日本語	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

生物地球学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		哲学A	1
		哲学B	1
		論理学A	1
		論理学B	1
		倫理と宗教A	1
		倫理と宗教B	1
		文学A	1
		文学B	1
		日本史A	1

	日本史B	1
	外国史A	1
	外国史B	1
	マスメディア論A	1
	マスメディア論B	1
	政治学A	1
	政治学B	1
	国際関係論A	1
	国際関係論B	1
	国際バカロレア概論	2
	海外文化研修	2
	経済学A	1
	経済学B	1
	環境と社会A	1
	環境と社会B	1
	日本国憲法	2
	法学A	1
	法学B	1
	考古学A	1
	考古学B	1
	比較文化論A	1
	比較文化論B	1
	社会と人間A	1
	社会と人間B	1
	福祉環境論A	1
	福祉環境論B	1
	岡山学A	1
	岡山学B	1
	芸術A	1
	芸術B	1
	健康の科学	2
	生涯スポーツ	1
	スポーツとフィールド科学（エコツーリズムのための野外スポーツ）	2
	スポーツとフィールド科学（ヨット）	1
	スポーツとフィールド科学（ゴルフ）	1
	スポーツとフィールド科学（テニス）	1
	スポーツとフィールド科学（ボウリング）	1
	スポーツとフィールド科学（スキー）	1
	ボランティア論A	1
	ボランティア論B	1
	ボランティア活動A	1
	ボランティア活動B	1
	日本の文化と歴史ⅠA	1
	日本の文化と歴史ⅠB	1
	日本の文化と歴史ⅡA	1
	日本の文化と歴史ⅡB	1
	文章表現法基礎編A	1
	文章表現法基礎編B	1
	プレゼンテーション基礎編A	1
	プレゼンテーション基礎編B	1
	教養演習A	1
	教養演習B	1
	企業と人間A	1
	企業と人間B	1
	キャリア形成講座A	1
	キャリア形成講座B	1
	学びの基礎論A	1
	学びの基礎論B	1

	地域フィールドスタディA	1
	地域フィールドスタディB	1
	企業情報特論A	1
	企業情報特論B	1
	インターンシップ概論	1
	インターンシップA	1
	インターンシップB	2
	インターンシップC	3
	社会・産業実習	3
	産業課題研究演習	2
	文章表現法応用編A	1
	文章表現法応用編B	1
	プレゼンテーション応用編A	1
	プレゼンテーション応用編B	1
	教職のための文章表現法	2
	教職のためのプレゼンテーション	2
	技術者の社会人基礎A	1
	技術者の社会人基礎B	1
	経営工学A	1
	経営工学B	1
	技術マネジメントA	1
	技術マネジメントB	1
	身近な物理学Ⅰ	1
	身近な物理学Ⅱ	1
	身近な化学Ⅰ	1
	身近な化学Ⅱ	1
	身近な生物学Ⅰ	1
	身近な生物学Ⅱ	1
	身近な地学Ⅰ	1
	身近な地学Ⅱ	1
	科学技術倫理A	1
	科学技術倫理B	1
	現代人の科学A	1
	現代人の科学B	1
	現代人の科学C	1
	現代人の科学D	1
	現代人の科学E	1
	現代人の科学F	1
	科学技術と人間A	1
	科学技術と人間B	1
	地球型惑星の歴史と物質科学	2
	科学・工作ボランティア入門	2
	科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
	科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
	科学ボランティア活動	1
	ワインの歴史と風土・文化	1
	ワインの科学	1
	生命の化学概論	1

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	D P 化学	2
I B 教育方法論	2	D P 教育実践研究Ⅰ	2
I B 教育評価論	2	D P 教育実践研究Ⅱ	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習Ⅰ	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習Ⅱ	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習Ⅲ	1
ワイン醸造法	1		

5. 教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
教育課程論	2	
数学教育法Ⅰ	2	
数学教育法Ⅱ	2	
数学教育法Ⅲ	2	
数学教育法Ⅳ	2	
理科教育法Ⅰ	2	
理科教育法Ⅱ	2	
理科教育法Ⅲ	2	
理科教育法Ⅳ	2	
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	該当免許教科の教育法を履修
社会科教育法Ⅰ	2	
社会科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅰ	2	
技術科教育法Ⅱ	2	
技術科教育法Ⅲ	2	
技術科教育法Ⅳ	2	
工業科教育法Ⅰ	2	
工業科教育法Ⅱ	2	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
道德教育の理論と方法	2	高等学校教諭一種免許状は「教科又は教職に関する科目」
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	2	
教育実習実践指導	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	3	
教職実践演習（中・高）	2	

教科又は教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
介護等体験の基礎と方法	2	

6. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

生物地球学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2		

別表Ⅴ 教育学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

初等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
初等国語科内容論	2	初等社会科内容論	2
初等理科内容論	2	算数科内容論	2
書写	1	生活科内容論	2
教職論	2	初等音楽科内容論	2
教育学原論	2	図画工作科内容論	2
教育心理学	2	初等家庭科内容論	2
教育課程論（初等）	2	初等体育科内容論	2
初等国語科教育法	2	教育史	2
初等社会科教育法	2	学習心理学	2
算数科教育法	2	教育行政学	2
初等理科教育法	2	教育社会学	2
生活科教育法	2	学校経営	2
初等音楽科教育法	2	小学校教育実習事前・事後指導	1
図画工作科教育法	2	小学校教育実習Ⅰ	2
初等家庭科教育法	2	小学校教育実習Ⅱ	2
初等体育科教育法	2	教職実践演習（小学校）	2
道德教育の理論と方法（初等）	2	教育学演習（教育史）	2
特別活動の理論と方法（初等）	2	教育学演習（教育社会学）	2
教育の方法と技術（初等）	2	教育学演習（教育心理学）	2
生徒・進路指導論（初等）	2	教材分析・開発演習A（国語・社会・家庭）	2
教育相談の理論と方法（初等）	2	教材分析・開発演習B（理科・算数・生活）	2
教育現場観察実習（初等）	1	教材分析・開発演習C（音楽・図工・体育）	2
情報リテラシー	2	特別支援教育論	2
I C T活用教育	2	理数教育の方法と実践	2
外国語活動の指導法	2	ピアノ奏法Ⅱ	1
ピアノ奏法Ⅰ	1	ピアノ奏法Ⅲ	1
現代教育課題論	2	E S D理論と実践	2
現代教育課題研究	2	シティズンシップ教育	2
探究ゼミⅠ	1	国際理解教育概論	2
探究ゼミⅡ	1	国際比較教育論	2
探究ゼミⅢ	1	現代社会と地域と子ども	2
探究活動Ⅰ	1	多文化コミュニケーション活動	1
現代人の科学Ⅰ	1	探究活動ⅡA	1
教育研究ゼミナール	2	探究活動ⅡB	1
卒業研究	4	探究活動ⅡC	1
		現代人の科学Ⅱ	1
		現代人の科学Ⅲ	1
		科学・工作ボランティア入門	2
		科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
		科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
		科学ボランティア活動	1
		教育ボランティアⅠ	1
		教育ボランティアⅡ	1
		フィールド観察実習	1

中等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
教職論	2	日本語学概論	2
教育学原論	2	日本語文法	2
教育心理学	2	日本語史	2
道德教育の理論と方法	2	日本語表現	2
特別活動の理論と方法	2	国語科内容論A	2

教育の方法と技術	2	日本文学概論	2
生徒・進路指導論	2	日本文学史	2
教育相談の理論と方法	2	日本文学Ⅰ（古典）	2
教育現場観察実習	1	日本文学Ⅱ（近・現代）	2
情報リテラシー	2	国語科内容論B	2
ICT活用教育	2	漢文学概論	2
現代教育課題論	2	漢文学Ⅰ	2
現代教育課題研究	2	漢文学Ⅱ	2
比較言語文化論	2	国語科内容論C	2
探究ゼミⅠ	1	書写・書道	1
探究ゼミⅡ	1	英語学概論	2
探究ゼミⅢ	1	現代英文法	2
探究活動Ⅰ	1	英語史	2
現代人の科学Ⅰ	1	応用言語学	2
現代人とことば	2	英語科内容論A	2
教育研究ゼミナール	2	英米文学概論	2
卒業研究	4	英米文学史	2
		英米文学講読	2
		英語科内容論B	2
		英語コミュニケーションⅠ	2
		英語コミュニケーションⅡ	2
		国際理解教育概論	2
		異文化理解	2
		英語科内容論C	2
		教育史	2
		学習心理学	2
		教育行政学	2
		教育社会学	2
		学校経営	2
		教育課程論	2
		国語科教育法Ⅰ	2
		国語科教育法Ⅱ	2
		国語科教育法Ⅲ	2
		国語科教育法Ⅳ	2
		英語科教育法Ⅰ	2
		英語科教育法Ⅱ	2
		英語科教育法Ⅲ	2
		英語科教育法Ⅳ	2
		教育実習事前・事後指導	1
		教育実習Ⅰ	1
		教育実習Ⅱ	3
		教職実践演習（中・高）	2
		教育学演習（教育史）	2
		教育学演習（教育社会学）	2
		教育学演習（教育心理学）	2
		国語科教材分析・開発演習A	2
		国語科教材分析・開発演習B	2
		国語科教材分析・開発演習C	2
		英語科教材分析・開発演習A	2
		英語科教材分析・開発演習B	2
		英語科教材分析・開発演習C	2
		特別支援教育論	2
		E S D理論と実践	2
		シティズンシップ教育	2
		国際比較教育論	2
		現代社会と地域と子ども	2
		Practical CommunicationⅠ	1
		Practical CommunicationⅡ	1

	Practical CommunicationⅢ	1
	Practical CommunicationⅣ	1
	多文化コミュニケーション活動	1
	探究活動ⅡA	1
	探究活動ⅡB	1
	探究活動ⅡC	1
	現代人の科学Ⅱ	1
	現代人の科学Ⅲ	1
	英語探究Ⅰ	1
	英語探究Ⅱ	1
	英語探究Ⅲ	1
	英語探究Ⅳ	1
	英語探究Ⅴ	1
	英語探究Ⅵ	1
	国語探究Ⅰ	1
	国語探究Ⅱ	1
	教育ボランティアⅠ	1
	教育ボランティアⅡ	1

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

初等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語Ⅰ	1	発信英語Ⅲ	1
総合英語Ⅱ	1	発信英語Ⅳ	1
総合英語Ⅲ	1	実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
総合英語Ⅳ	1	実用英語 (アカデミックライティング)	1
発信英語Ⅰ	1	実用英語 (プレゼンテーション)	1
発信英語Ⅱ	1	初修外国語 (ドイツ語Ⅰ)	1
		初修外国語 (ドイツ語Ⅱ)	1
		初修外国語 (フランス語Ⅰ)	1
		初修外国語 (フランス語Ⅱ)	1
		初修外国語 (中国語Ⅰ)	1
		初修外国語 (中国語Ⅱ)	1
		初修外国語 (ハングルⅠ)	1
		初修外国語 (ハングルⅡ)	1
		専門英語Ⅰ (初等教育学科)	1
		専門英語Ⅱ (初等教育学科)	1
		専門英語Ⅰ (中等教育学科)	1
		専門英語Ⅱ (中等教育学科)	1
		応用英語Ⅰ	1
		応用英語Ⅱ	1
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3

中等教育学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語Ⅰ	1	発信英語Ⅲ	1
総合英語Ⅱ	1	発信英語Ⅳ	1
総合英語Ⅲ	1	実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
総合英語Ⅳ	1	実用英語 (アカデミックライティング)	1
発信英語Ⅰ	1	実用英語 (プレゼンテーション)	1
発信英語Ⅱ	1	初修外国語 (ドイツ語Ⅰ)	1
		初修外国語 (ドイツ語Ⅱ)	1
		初修外国語 (フランス語Ⅰ)	1
		初修外国語 (フランス語Ⅱ)	1

	初修外国語（中国語Ⅰ）	1
	初修外国語（中国語Ⅱ）	1
	初修外国語（ハングルⅠ）	1
	初修外国語（ハングルⅡ）	1
	専門英語Ⅰ（初等教育学科）	1
	専門英語Ⅱ（初等教育学科）	1
	専門英語Ⅰ（中等教育学科）	1
	専門英語Ⅱ（中等教育学科）	1
	応用英語Ⅰ	1
	応用英語Ⅱ	1
	海外語学研修A	1
	海外語学研修B	2
	海外語学研修C	2
	海外語学研修D	3

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

教育学部共通

必修科目	単位数	選択科目	単位数
		人間を読みとく（文学）	2
		人間を読みとく（哲学）	2
		人間を読みとく（心理学）	2
		社会を読みとく（マスメディア論）	2
		社会を読みとく（経済学）	2
		社会を読みとく（ボランティア論）	2
		社会を読みとく（福祉環境論）	2
		文化と芸術（考古学）	2
		文化と芸術（岡山学）	2
		国際理解（国際関係論）	2
		国際理解（海外文化研修）	2
		国際理解（比較文化論）	2
		国際理解（国際バカロレア概論）	2
		日本国憲法	2
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		スポーツとフィールド科学 （エコツーリズムのための野外スポー	2
		スポーツとフィールド科学（ヨット）	1
		スポーツとフィールド科学（ゴルフ）	1
		スポーツとフィールド科学（テニス）	1
		スポーツとフィールド科学（ボウリング）	1
		スポーツとフィールド科学（スキー）	1
		身近な物理学Ⅰ	1
		身近な物理学Ⅱ	1
		身近な化学Ⅰ	1
		身近な化学Ⅱ	1
		身近な生物学Ⅰ	1
		身近な生物学Ⅱ	1
		身近な地学Ⅰ	1
		身近な地学Ⅱ	1
		ワインの歴史と風土・文化	1
		ワインの科学	1
		生命の化学概論	1
		伝える力（プレゼンテーション基礎編）	2
		伝える力（プレゼンテーション応用編）	2
		伝える力（文章表現法基礎編）	2
		伝える力（文章表現法応用編）	2
		学びの基礎論	2

	企業情報特論	2
	キャリア形成講座	2
	インターンシップ	2
	教養演習	2
	企業と人間	2
	地域フィールドスタディ	2

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	I B 教育評価論	2
I B 教育方法論	2	D P 教育実践研究 I	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習 I	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習 II	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習 III	1
ワイン醸造法	1		

5. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

教育学部共通

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
博物館教育論	1	博物館情報論	2
博物館実習	3	自然史 A	2
自然史 B	2	文化史 A	2
文化史 B	2		

別表VI 経営学部の授業科目、単位数及び必修・選択の別
 ただし、中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得のために必要な教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目については、全学共通とする。

1. 専門教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

経営学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
情報リテラシー	2	経営学基礎	2
基礎教養ゼミナール	2	商学基礎	2
プロジェクト研究	2	経済学基礎	2
イノベーション・ラボ I	4	簿記基礎	2
イノベーション・ラボ II	4	情報科学基礎	2
卒業研究 I	2	データ解析基礎	2
卒業研究 II	2	社会学基礎	2
		法学基礎	2
		歴史学基礎	2
		心理学基礎	2
		マーケティング論	2
		マーケティング戦略	2
		サービスマーケティング	2
		サービス経営学	2
		サービス社会システム	2
		商品開発論	2
		消費者行動	2
		マーケティング・コミュニケーション	2
		小売マーケティング	2
		国際マーケティング	2
		マーケティング・リサーチ	2
		まちづくりと商業	2
		観光ビジネス	2
		企業論	2
		ベンチャービジネス論	2
		経営戦略	2
		経営組織	2
		人的資源管理	2
		ファイナンシャルプランニング	2
		ファイナンス戦略	2
		金融サービス	2
		簿記原理	2
		財務諸表論	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		アジアの産業と市場	2
		国際経済論	2
		リスクマネジメント	2
		社会調査入門	2
		社会調査法	2
		データ解析システム	2
		行動計量学	2
		データサイエンス演習	2
		経営情報	2
		経営科学	2
		経営システム	2
		プログラミング基礎	2
		応用プログラミング	2
		コミュニケーション論	2
		現代のメディア	2
		ジャーナリズム論	2
		社会心理学	2

		市民生活と法	2
		国際社会と法	2
		社会福祉と法	2
		公共政策	2
		経済政策	2
		国際政治学	2
		環境政策	2
		地域と伝統	2
		日本の歴史	2
		中国の歴史	2
		東南アジアの歴史	2
		歴史資料解析	2
		世界地誌	2
		地理学	2
		民俗学	2
		アジアの考古学	2
		比較文化論	2
		現代論理学	2
		現代哲学	2
		ビジネス英会話Ⅰ	2
		ビジネス英会話Ⅱ	2
		情報活用とビジネスライティングⅠ	2
		情報活用とビジネスライティングⅡ	2
		実践キャリア学Ⅰ	2
		実践キャリア学Ⅱ	2

2. 外国語教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

経営学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
総合英語Ⅰ	1	発信英語Ⅲ	1
総合英語Ⅱ	1	発信英語Ⅳ	1
総合英語Ⅲ	1	専門英語Ⅰ	1
総合英語Ⅳ	1	専門英語Ⅱ	1
発信英語Ⅰ	1	応用英語Ⅰ	1
発信英語Ⅱ	1	応用英語Ⅱ	1
		実用英語 (TOEIC対応クラス600)	1
		実用英語 (アカデミックライティング)	1
		実用英語(プレゼンテーション)	1
		ドイツ語Ⅰ	1
		ドイツ語Ⅱ	1
		フランス語Ⅰ	1
		フランス語Ⅱ	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		ハンブルⅠ	1
		ハンブルⅡ	1
		海外語学研修A	1
		海外語学研修B	2
		海外語学研修C	2
		海外語学研修D	3
		日本語	4
		日本語会話	4
		日本語理解	2
		日本語表現	2
		基礎日本語	2
		TOEICセミナーⅠ	2
		TOEICセミナーⅡ	2

3. 教養教育科目の単位数及び必修・選択の別は、次のとおりである。

経営学科

必修科目	単位数	選択科目	単位数
フレッシュマンセミナー	1	心理学A	1
		心理学B	1
		哲学A	1
		哲学B	1
		論理学A	1
		論理学B	1
		倫理と宗教A	1
		倫理と宗教B	1
		文学A	1
		文学B	1
		日本史A	1
		日本史B	1
		外国史A	1
		外国史B	1
		マスメディア論A	1
		マスメディア論B	1
		政治学A	1
		政治学B	1
		国際関係論A	1
		国際関係論B	1
		国際バカロレア概論	2
		海外文化研修	2
		経済学A	1
		経済学B	1
		環境と社会A	1
		環境と社会B	1
		日本国憲法	2
		法学A	1
		法学B	1
		考古学A	1
		考古学B	1
		比較文化論A	1
		比較文化論B	1
		社会と人間A	1
		社会と人間B	1
		福祉環境論A	1
		福祉環境論B	1
		岡山学A	1
		岡山学B	1
		健康の科学	2
		生涯スポーツ	1
		スポーツとフィールド科学 (エコツアーリズムのための野外スポーツ)	2
		スポーツとフィールド科学 (ヨット)	1
		スポーツとフィールド科学 (ゴルフ)	1
		スポーツとフィールド科学 (テニス)	1
		スポーツとフィールド科学 (ボウリング)	1
		スポーツとフィールド科学 (スキー)	1
		ボランティア論A	1
		ボランティア論B	1
		ボランティア活動A	1
		ボランティア活動B	1
		日本の文化と歴史 I A	1
		日本の文化と歴史 I B	1

	日本の文化と歴史ⅡA	1
	日本の文化と歴史ⅡB	1
	文章表現法基礎編A	1
	文章表現法基礎編B	1
	プレゼンテーション基礎編A	1
	プレゼンテーション基礎編B	1
	教養演習A	1
	教養演習B	1
	企業と人間A	1
	企業と人間B	1
	キャリア形成講座A	1
	キャリア形成講座B	1
	学びの基礎論A	1
	学びの基礎論B	1
	地域フィールドスタディA	1
	地域フィールドスタディB	1
	企業情報特論A	1
	企業情報特論B	1
	インターンシップ概論	1
	インターンシップA	1
	インターンシップB	2
	インターンシップC	3
	文章表現法応用編A	1
	文章表現法応用編B	1
	プレゼンテーション応用編A	1
	プレゼンテーション応用編B	1
	教職のための文章表現法	2
	教職のためのプレゼンテーション	2
	技術者の社会人基礎A	1
	技術者の社会人基礎B	1
	経営工学A	1
	経営工学B	1
	技術マネジメントA	1
	技術マネジメントB	1
	身近な物理学Ⅰ	1
	身近な物理学Ⅱ	1
	身近な化学Ⅰ	1
	身近な化学Ⅱ	1
	身近な生物学Ⅰ	1
	身近な生物学Ⅱ	1
	身近な地学Ⅰ	1
	身近な地学Ⅱ	1
	科学技術倫理A	1
	科学技術倫理B	1
	現代人の科学A	1
	現代人の科学B	1
	現代人の科学C	1
	現代人の科学D	1
	現代人の科学E	1
	現代人の科学F	1
	科学技術と人間A	1
	科学技術と人間B	1
	科学・工作ボランティア入門	2
	科学ボランティア実践指導Ⅰ	1
	科学ボランティア実践指導Ⅱ	1
	科学ボランティア活動	1
	ワインの歴史と風土・文化	1
	ワインの科学	1
	生命の化学概論	1

4. プロジェクト科目の単位数は、次のとおりである。

I B 教員養成プロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
I B 教育課程論	1	I B 教育評価論	2
I B 教育方法論	2	D P 教育実践研究 I	2

ワインプロジェクト科目

授業科目	単位数	授業科目	単位数
ブドウ栽培学	1	ワインプロジェクト実習 I	1
生命の基礎化学	1	ワインプロジェクト実習 II	1
発酵と微生物	1	ワインプロジェクト実習 III	1
ワイン醸造法	1		

5. 教職関連科目の単位数は、次のとおりである。

教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
教職論	2	
教育学原論	2	
教育史	2	
教育心理学	2	
教育行政学	2	
学校経営	2	
教育課程論	2	
数学教育法 I	2	
数学教育法 II	2	
数学教育法 III	2	
数学教育法 IV	2	
理科教育法 I	2	
理科教育法 II	2	
理科教育法 III	2	
理科教育法 IV	2	
社会科・公民科教育法 I	2	
社会科・公民科教育法 II	2	該当免許教科の教育法を履修
社会科教育法 I	2	
社会科教育法 II	2	
技術科教育法 I	2	
技術科教育法 II	2	
技術科教育法 III	2	
技術科教育法 IV	2	
工業科教育法 I	2	
工業科教育法 II	2	
情報科教育法 I	2	
情報科教育法 II	2	
道徳教育の理論と方法	2	高等学校教諭一種免許状は「教科又は教職に関する科目」
特別活動の理論と方法	2	
教育の方法と技術	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談の理論と方法	2	
教育実習事前・事後指導	2	
教育実習実践指導	2	
教育実習 I	1	
教育実習 II	3	
教職実践演習 (中・高)	2	

教科又は教職に関する科目

授業科目	単位数	備考
介護等体験の基礎と方法	2	

6. 博物館学芸員に関する科目は、次のとおりである。

博物館学芸員に関する科目

経営学科

授業科目	単位数	授業科目	単位数
生涯学習概論	2	博物館概論	2
博物館経営論	2	博物館資料論	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
教育学原論	2	博物館教育論	1
博物館情報論	2	博物館実習	3
自然史A	2	自然史B	2

別表Ⅶ 理学部（専攻科における科目及び単位数）

専攻名	授業科目	単位数	授業科目	単位数
応用数学専攻	特別講義Ⅰa (代数学a)	2	特別講義Ⅰb (代数学b)	2
	特別講義Ⅰc (代数学c)	2	特別講義Ⅰd (代数学d)	2
	特別講義Ⅱa (幾何学a)	2	特別講義Ⅱb (幾何学b)	2
	特別講義Ⅱc (幾何学c)	2	特別講義Ⅱd (幾何学d)	2
	特別講義Ⅲa (解析学a)	2	特別講義Ⅲb (解析学b)	2
	特別講義Ⅲc (解析学c)	2	特別講義Ⅳa (数理統計学a)	2
	特別講義Ⅳb (数理統計学b)	2	特別講義Ⅳc (数理統計学c)	2
	特別研究	20		
化学専攻	特別講義Ⅰ (有機構造化学)	4	特別講義Ⅱ (高分子設計)	4
	特別講義Ⅲ (分析化学)	4	特別講義Ⅳ (天然物有機化学)	4
	特別講義Ⅴ (合成無機化学)	4	特別講義Ⅵ (固体表面化学)	4
	特別講義Ⅶ (高分子材料化学)	4	特別講義Ⅷ (応用分析)	4
	特別講義Ⅸ (固体物理化学)	4	特別講義Ⅹ (材料化学)	4
	特別講義Ⅺ (新素材化学)	4	特別研究	20
応用化学専攻	特別講義Ⅰ (染料・界面活性剤)	4	特別講義Ⅱ (環境化学特論)	4
	特別講義Ⅲ (合成繊維)	4	特別講義Ⅳ (装置工学)	4
	特別講義Ⅴ (微生物代謝)	4	特別講義Ⅵ (移動現象論)	4
	特別講義Ⅶ (ガラス・窯業)	4	特別講義Ⅷ (界面現象論)	4
	特別研究	20		
応用物理学専攻	特別講義Ⅰ (量子力学)	4	特別講義Ⅱ (物理光学)	4
	特別講義Ⅲ (半導体工学)	4	特別講義Ⅳ (応用力学)	4
	特別講義Ⅴ (計測自動制御)	4	特別講義Ⅵ (光物性)	4
	特別講義Ⅶ (固体物理学)	4	特別研究	20
機械理学専攻	特別講義Ⅰ (測定特論)	4	特別講義Ⅱ (統計力学)	4
	特別講義Ⅲ (代数特論)	4	特別講義Ⅳ (関数解析)	4
	特別講義Ⅴ (自動制御)	4	特別講義Ⅵ (機械力学)	4
	特別講義Ⅶ (材料力学)	4	特別講義Ⅷ (機械工作)	4
	特別研究	20		
電子理学専攻	特別講義Ⅰ (電気磁気特論)	4	特別講義Ⅱ (原子核工学特論)	4
	特別講義Ⅲ (物性工学)	4	特別講義Ⅳ (応用数学特論)	4
	特別講義Ⅴ (応用数学特論)	4	特別講義Ⅵ (自動制御特論)	4
	特別講義Ⅶ (放電現象論)	4	特別講義Ⅷ (情報理論特論)	4
	特別講義Ⅸ (回路理論特論)	4	特別研究	20

別表Ⅷ（納付金）

1. 入学検定料 35,000円
ただし、大学入試センター試験を利用する入学試験を受験する者の入学検定料は、20,000円とする。
2. 入 学 金 220,000円
3. 授業料・その他納付金（年間）

（単位・円）

年度	区 分		授業料	その他納付金			
				実験実習費	年次	施設設備費	
平成29年度生	理学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	工学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	総合情報学部	情報科学科	845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	生物地球学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	教育学部		845,000	50,000	1年次	85,000	
					2年次以降	245,000	
	経営学部		845,000	50,000	1年次	85,000	
					2年次以降	245,000	
平成28年度生	理学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	工学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	総合情報学部	情報科学科	845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	総合情報学部	社会情報学科	845,000	145,000	1年次	270,000	
					2年次以降	430,000	
	生物地球学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	教育学部		845,000	50,000	1年次	85,000	
					2年次以降	245,000	
平成27年度生	理学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	工学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	総合情報学部	情報科学科	845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	総合情報学部	社会情報学科	845,000	145,000	1年次	270,000	
					2年次以降	430,000	
	生物地球学部		845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
	平成26年度生	理学部		845,000	165,000	1年次	300,000
						2年次以降	460,000
工学部		845,000	165,000	1年次	300,000		
				2年次以降	460,000		
総合情報学部		情報科学科	845,000	165,000	1年次	300,000	
					2年次以降	460,000	
総合情報学部		社会情報学科	845,000	145,000	1年次	270,000	
					2年次以降	430,000	
生物地球学部		845,000	165,000	1年次	300,000		
				2年次以降	460,000		
平成25年度生		理学部		845,000	82,500		230,000
		工学部		845,000	82,500		230,000
	総合情報学部	情報科学科	845,000	82,500		230,000	
		社会情報学科	845,000	72,500		215,000	
	生物地球学部		845,000	82,500		230,000	
平成24年度生	理学部		845,000	82,500		230,000	
	工学部		845,000	82,500		230,000	
	総合情報学部	情報科学科	845,000	82,500		230,000	
		社会情報学科	845,000	72,500		215,000	
	生物地球学部		845,000	82,500		230,000	
平成23年度生	理学部		845,000	82,500		230,000	
	工学部		845,000	82,500		230,000	
	総合情報学部	情報科学科	845,000	82,500		230,000	
		生物地球システム学科	845,000	82,500		230,000	
		845,000	72,500		215,000		

平成 22 年度 生	理学部		845,000	82,500	230,000
	工学部		845,000	82,500	230,000
	総合情 報学部	情報科学科	845,000	82,500	235,000
		生物地球システム学科			
		建築学科			
社会情報学科		845,000	72,500	220,000	

4. 臨床生命科学科の学生で病院実習を行う者は、実習費として60,000円を3、4年次に分割して徴収する。

別表IX（専攻科の納付金）

（単位・円）

入学検定料	入学金	授業料	その他納付金	
			実験実習費	施設設備費
35,000	220,000	845,000	165,000	420,000

別表X（教職特別課程の納付金）

（単位・円）

入学検定料	入学金	授業料	その他納付金	
			実験実習費	施設設備費
35,000	60,000	845,000	165,000	420,000

別表X I（科目等履修生の納付金）

（単位・円）

入学検定料	入学金	一単位当たりの履修料	
		講義科目演習科目	実験実習科目
12,000	22,000	19,000	24,000